京城日報
十六日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

○日米無線電信開通に際し
日本皇帝陛下へ＝大統領より

華盛頓來電＝大統領ウイルソン氏は日米間直通商業無線電信開始に際し日本皇帝陛下に宛親電を發して兩國々交の永遠に渝らざらん事を希望し此の無線電信に依つて永く兩國友情の交換を爲すべきを保障せり（紐育電報）

○濠洲運輸界の大恐慌

濠洲の炭鑛夫等は八時間勞働の實施を强制せん事を政府に請願するの決議を爲せり波止場人足等も就業を停止せんとしつゝあり羊毛取引は船無き爲め停止せられたり種々の工場に雇傭せられたる勞働者にして業を失ふ者三萬を算するに至る港内に碇泊する百隻以上の汽船は休止の狀態にあり電車及び鐵道の如きも石炭運搬夫にして就業を拒絶するに於ては總て運轉を中止するに至らん炭鑛地方に於ては毎週五萬磅以上の損失を蒙り居れり（シドニー電報）

○獨軍明確に敗戰を自認す
英軍の爲に容易ならざる損害を被る

十四日の獨軍公書は英軍がボウモンタカル、サンピエルチヴイヨンの二村及び之を横に連ぬる戰線を占領せる事を承認せり同公書は曰く我軍は英軍の攻擊に對して頑强に抵抗したるが故に容易ならざる損害を被るに至れりと獨逸が斯く明白に其の損害を自認するが如きは未だ曾てあらざる所なり（紐育電報）

○獨軍の對佛敗戰承認

伯林來電＝獨逸公報に佛軍が單獨にセント、ピーエル、ヴアスト森林の獨軍陣地を占領したる事を容認したり（紐育電報）

○塞軍の對獨勃軍戰捷

塞國公報に曰く塞軍は十三日獨勃軍とセルナカラに於て激戰を交へ戰鬪今猶ほ繼續中なるが數個塹壕は屢々彼我の間に奪取せられ塞軍は日沒に至りてパウシ附近に重要なる敵の陣地を占領せり敵の死傷は極めて多く塞軍は更に敵兵一千餘名を捕虜とし（其大部分は獨兵）重要なる戰利品を獲たり（倫敦電報）

○駐支英公使出發
再び歸任せざらん

豫て噂されたる如く駐支英國公使ジヨルダン氏は十五日北京發歸國の途に就けり來春再び歸任の筈なるも老齡の事故多分他に轉任すべしと言ふ（北京特電）

○行政資料配付

内務省にて調査中の交戰各國に於ける行政參考資料第一輯は此程脫稿したるに付本月下旬を以て各府縣廳及び郡役所迄の範圍を以て内務省より送附する筈なりと（東京電報）

○陸軍待命豫備
約二百名の發表

陸軍省にては十五日附各兵科佐尉官同相當官約二百名に對し待命又は豫備役仰付らるべき旨十六日發表せり其の重なる者左の如し（東京特電）

歩兵大佐 富田鶴之助
（以下十九名）
騎兵大佐 浮田家雄
砲兵大佐 森俊藏
（以下七名）
輜重兵大佐 森川新五郞
待命仰被付（各通）

○本野子と寺内伯
京都にて會見

歸朝の途に在る本野大使は十七日夜若しくは十八日朝下關に著し大元帥陛下に扈從せる寺内首相と京都に會見し十九日頃歸京の豫定也（東京特電）

○辭令

十五日附を以て左の如く辭令ありたり（東京特電）
兎本官專任朝鮮總督府事務官兼朝鮮總督府道事務官 車田篤

○水谷鑛業所長

平壤鑛業所長水谷海軍大佐は十六日朝高麗丸にて著釜午前十時半發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

○總督演習地出發

福岡縣下演習地出張中なりし長谷川總督は十五日福岡縣出發昨夜下の關山陽ホテル一泊十六日朝下の關發東上の旨總督府へ著電ありたり

□觀菊會行幸啓

天皇皇后兩陛下には御同列にて來る二十一日午後二時御出門赤坂離宮に行幸啓觀菊の御宴を催ふさせ給ひ各皇族方を始め奉り内外臣僚を御召あらせらるゝ事に御治定相成りたる由（東京電報）

○本府職員充實

有賀、時永並に高武三道事務官は十五日附を以て何れも總督府事務官を命せられしは本紙既報の如し右は本府長官道長官の更迭に伴ふ總督本府職員の異動缺員を轉補せんとするものにして前京畿道第一部長有賀光豐氏は藤川氏の後を襲うて度支部稅務課長に任せられ前同道事務官時永浦三氏は荻田氏の後を繼いで本府總務局總務課長の椅子に著き又た前全羅南道事務官高武公美氏は田中氏の後任として内務部第二課に入る可く既に内定せる由なれば近く其れ〳〵任命を見る可く之れにて總督本府の職員は全く充實せり

○秋山中將陞進

朝鮮駐剳軍司令官秋山好古中將は十六日福岡大本營に於て陸軍大將に親任せられたる旨其筋に通報ありたり

▲井口大谷兩中將 右秋山軍司令官の外軍事參議官井口省吾青島守備軍司令官大谷喜久藏の兩中將も十五日福岡大本營に於て陸軍大將に親任されたり

陸軍大將に陞進せし 秋山駐剳軍司令官

○石塚總裁東上

東拓總裁石塚英藏氏は清水參事を隨へ十七日午前八時三十分南大門驛發汽車にて東上の事となれり歸任期は未定なるも滯京期間は凡そ三週間の豫定なりと

○清會輕鐵の利用策
咸北刻下の大問題＝鏡城以南へ延長か、國境第一線敷設乎

咸鏡北道清津會寧間の所謂清會輕鐵は陸軍省の所有に係り目下松本組輕鐵部にて其の營業を繼續しつゝあるが本月上旬清會鐵道一部開通して輕鐵の南半三分の二は不用に歸し明秋鐵道全通せばトロ

▲二十餘哩 は殘らず撤退の運びに至るべく茲に於て既に北鮮並に間島官民の間に該輕鐵の處分を如何にすべきやの問題盛んに議せられ陸軍省も相當研究を費しつゝありと云ふが咸北官民不用輕鐵利用策と云ふを聞くに概ね（一）幾哩にても鏡城以南に延長する事……清津鏡城間は現に輕車通じ居れり……（二）國境第一線に敷設する事（三）間島引込の三案に歸著するもの、如し、第一の鏡城以南延長は咸北道廳之れを希望し既に陸軍省に向け稟申の手續きを執りたるやに仄聞せしが其の理由とする所は鏡城以南營農地の開發生氣嶺

▲炭山の石炭運搬 並に陸軍の療養地となり居る朱乙溫泉と鏡城羅南を結びつけんとするにあり地勢も概ね平坦にして必らずしも多くの工費を要せず陸軍省に其の敷設を求め斯くして永興清津間鐵道開通するまでの便とすべしと云ふにあり、第二の國境第一線敷設は清津會寧の人士其の急を叫びつゝあり主張の要點は第一會寧より豆滿江下流慶源迄に陸軍省にて清會間不用輕鐵を敷設せば同方面の開發に資する事少なからず加ふるに國境警護の任に當る各地守備隊の軍需品輸送に便多く萬一の際は唯一の交通機關として軍事上須要なるべし而して折角明秋全通する清會輕鐵の培養線ともならん工費は山多き爲め比較的多額を要すべきも會寧には工兵大隊の駐屯あり其の作業の障碍は大に減せらるゝなるべしと唱へ第三の間島引込みは清會兩地の一部人士及び間島在住内地人の聲にして天寶山鑛石輸送の理由によりて之れを敷設し會寧龍井村局子街相互間の交通に便せんと說きつゝあり、而して三案の結著は一に

▲陸軍省の所見 如何に係るも目下の形勢は第一說たる鏡城線延長最も有利と目すべき理由あり第二說は距離長く又長からざれば用を爲さず工費多額に上るを以て其の費用を陸軍省が容易に支出するを肯せざるべく必要の輕鐵に相違なきも其の敷設を見るは甚だ困難ならん、而して間島引込は其の解決を日支國際談判に待つを要し而して斯かる交涉を提起するは支那側の猜疑を惹起し又陸軍省が到底此の輕鐵線路の敷設を諾すべしと思はれず其の工費も局子街會寧間十餘萬圓は何れにか之れを需むるを要し而して到底輕鐵收入の見積り貧弱にして收支の採算立つべくも非ずとの事に付該區間の敷設は到底物にならざる可しと（清津にて特派員）

○清津貿易激增

十月清津港貿易は輸移出六萬六千七十八圓輸移入四十萬三千九百九十圓計四十七萬六十八圓にして之を前月に比較するに約二十一割更に前年同期に比するに約二十三割の激增を示し清津開港未曾有の盛況を呈せり之が原因として輸移出に於ては糧穀、大豆、開鰆の魚肥牛皮等も相當出廻りあり輸入に於ては鐵道橋梁材料十二萬餘圓の輸移入ありたる外奥地農作物の本年豐穣なるに加へて鐵道工事道路工事等にて地方農民の購買力著しく增進したる結果各物品の輸移入旺んなりしに原因するもの、如し（清津）

○大田中學敷地決定

明年度南鮮に開設すべき中學校は大田に内定し既に設立費は總督府豫算に計上せられあるやに聞けるが大田より中學校敷地として一萬二千坪寄附申請の件は直ちに採納せられ候補地三箇所に對し水質檢査其他調査終了と共に第一候補地即ち大田富士下に決定せりと（大田）

義州より啓上
鯨洋生

新義州を出づるや、寒威は猛然として來襲、汽車內の暖國より、一變して寒國に入り、辟易一方ならず、輕裝の失敗は、忽ち閉口となり、手足凍ゑて苦痛頻也、前年毛布に包まれて、雪中馬車を走せし時よりも、今回の凍著が一段の寒威を感せり、併し乍ら左に白馬の古城址を眺め右に大江を隔て鳳凰山の雄姿に接し、滿洲を越へて吹き付くる、寒風を浴び、大野の中を驅走するは、京城などには思ひも依らぬ雄大の感無きにしも非ず、寒氣の苦痛も、此の雄大の自然と接せば、差し引き其れ程の苦痛を感せず、漸く義州に入り、又た海東第一關を仰ぐ（十四日午後義州にて）

○大田穀物業者協議

鐵道局對共益社特定運賃問題は各地輸穀業者に取り多大の利害關係もあり殊に大田を中心として附近各驛より輸穀するもの多きを以て大田實業協會は各關係各地と商議する所ありしが其後鐵道局にても一般意向の有る所を知り五千噸以上輸出する者には運賃の均霑を爲すべく發表を見たるを以て實業協會は十三日夜千歲旅館に穀物業者協議會を開き種々協議する所あり其の結果或は委員を設け上京せしむべしと（大田）

○實業敎育調査會

實業敎育調査委員會は十六日午前十時より總督府第二會議室に開催各委員全部出席し豫定の議事を終了して午後三時散會したり

○大村書記長歸京

商業視察の爲め露領に出張中なりし京城商業會議所書記長大村友之丞氏は十六日午後十一時四十分南大門驛著汽車にて歸京す

○小田書記官癒

中樞院書記官小田幹治郎氏は豫て胃潰瘍に罹り臥床中の處爾後漸次回復し十五日床拂ひを爲したりと

●亥角警務官鍾路署視察 警務總監部亥角警務官は坂本警部を隨へ十六日午前鍾路警察署に出張し會計事務の視察をなせり

●平南汽船と兼二浦寄港 平壤大野貞作氏經營の平壤南浦間の汽船航路は兼二浦の發展に伴れ同地の陸揚貨物激增せる爲め航路を變更して十月二十九日より兼二浦に寄港する事となりたり（平壤）

鎭南浦

▲取引尻決濟協議 從來輸移入品に對する延取引に就いては凡て約束手形を以て其都度計算し良好なる結果を見つゝありしが先年よりの不況以來一習慣を形造りて鮮人側の期日嚴守されず取引の支障夥しきものあり是が矯正方法に就いて當業者間に講究されつゝあるものありしが今回久保田鮮銀支店長の贊同を得て同行の好意により割引手形と然らざる手形とを問はず一切銀行の手を經て取立つる事とし期日を無視する者は是を指摘當業者に通告し取引を停止する事に決定鮮人間に此旨布知すべく協議會を開催する處ありたり▲出穀と配船 內地行穀類の出盛期に當り船腹不足の折柄とて廻船せらるゝもの尠んどなく荷閊へを生じて當業者は四苦八苦の態にて多數の註文を如何ともすべからず組合に於ては商船に配船請求の電報を再發したれど及ばず一方鐵道方面も貨車の融通に遺憾あり船車共に意の如からず爰に困難を極めつゝあるもの、如し

平壤

▲神宮奉獻基金 平壤府に於ける明治神宮奉獻基金は割宛額一千二百圓に對し應募一千六百十九圓四十錢にして既に拂込を了したるもの一千五百九十五圓三十錢申込後都合により取消したるもの四圓未納二十圓一件なりと▲口述試驗 既報平安南道雇員採用試驗筆記試驗合格者は十四名の受驗者中四名にて十一月十五日道廳に於て右四名に對し口述試驗を執行したり▲古蹟調查員來壤 總督府古蹟調查委員馬場是一郎氏は十四日來壤十五日より大同、江西郡、龍岡郡、鎭南浦府等の古蹟調查をなすべしと▲一部長歸任 平南第一部長篠田治策氏は學務係金書記を隨へ管內視察中の處四日歸任したり▲署僚歸任 平壤警察署僚田中警部は本月十日より管內巡視の處十五日歸署したり▲十月電力 平壤電氣會社去月中の電力供給は電燈取付六千八百六十五個十燭換算七千五百三十九個動力三十八馬力半にして昨年十月取付燈五千三百三十二個十燭換算六千八百八個動力十六馬力ありと云ふ昨年同月に比し電燈一千五百三十二個動力に於て十二馬力半の增加を示せり

龍岡

▲棉花近況 龍岡郡地方棉花は收穫は昨年に比し約二割の增收にして價格又昨年は一斤八錢乃至九錢にて取引されたるも本年は一斤十一錢乃至十四錢の商値にて仲買人多數入込み何れも競爭的に買入つゝありと▲財務主任更迭 平安南道龍岡郡財務主任小池良雄氏は今回辭任し後任として道財務係勸務長直人氏任命され不日赴任すべし

○露軍退却

露軍はブコヴイナに於て退却せり（紐育電報）

○天津佛租界の暗黑
間も無く回復す

天津佛租界電燈經營に就き同盟罷工起り一時佛租界方面全部暗黑となり大騷ぎをなしたるも程なく鎭撫恢復せり（北京電報）

○國老院法案提出

支那政府は議會に對し國老院法案を提出す國老は孫逸仙、徐世昌、康有爲、李經芳等の諸氏なり（北京電報）

○本野大使と打合
白仁長官の出迎

關東都督府民政長官白仁武氏は十六日本野大使を長春に出迎へ會見の上重要事項の打合をなし同車南行せり（長春電報）

○浦港禁輸除外決定

日露兩國政府間に交涉中なりし浦鹽港輸入禁止除外例設定の手續決定せり（東京電報）

○贈位發表期

福岡大演習地附近縣に於ける勸王志士及び學者の贈位發表は來る廿三日頃なる可し（東京電報）

○鐵道院年末賞與

鐵道院年末賞與は今年は一割增に決定せり（東京電報）

○川崎商船學校

神戶川崎造船所の附屬事業として商船學校の施設をなすに決せり（東京電報）

仁川

●スミス部長來仁 京城美以敎會スミス部長は十六日午前十時來仁同メソヂスト敎會を訪問の上零時三十分歸京▲經濟會役員會 十五日午後一時仁川俱樂部に於て開會したるが同役員會にては仁川發展史編纂に付き協議したるが其結果仁川公立商業學校經濟擔任講師山下南海氏に編纂事務一切を委囑する事に決したり▲商校武道小會 仁川商業學校にては吉田敎諭入營の爲め退職したるを以て送別武道小會を十六日午後一時より同校庭に於て催ほしたり▲宅支店長歸還 宅合名會社仁川支店長宅甚之助氏は今回堺なる本社詰めとなり仁川支店を兼任する事となり十八日午後七時紐峴驛發歸還の筈なるが同氏は仁川在住十二年間の久しきに及び其間公共事業に貢獻する處大にして內外の信用厚く現に商業會議所評議員商組合長等の職にあり

大田

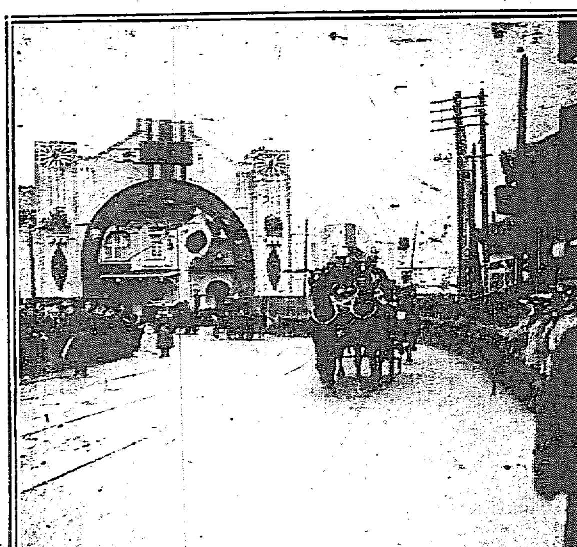
▲管理者辭職手續 大田學校組合管理者內藤氏は都合に依り辭表を其推薦者の手元まで差出したりと云ふ者あり同氏が昨年管理者就職の當時推薦者と一年の契約あり又問題の重なるものも凡て解決を見たる形なれば平和の時に辭職を爲す考へなるべしと或人は語れり▲農友會品評會 十五日午後一時より大田恩賜產業傳習所に於て農友會品評會田民國有地小作人立毛品評會棉作優良者に對し褒賞授與式を行ひたるが小松道事務官は長官代理として祝辭を來賓總代田中普通學校長の演說等あり頗る盛會なりき△歸還兵出發 步兵第七十九聯隊第三、四二個中隊歸休兵全部は十五日午前七時十分勝沼大尉に引率され大田驛出發多數見送ありたり▲魚市場賣揚 大田魚市場十月分賣揚は三千九十九貫價格二千三百六十四圓餘にて前月に比する時は八十五貫の增加を見たり原因は一時虎疫の爲め行思はしからざりしに虎疫終熄と同時に需用家の增加を爲せし結果也と

木浦

▲輸移出米數 出穀時期に入り輸移出米も漸次增加し來りしも之を昨年に比すれば時期遲れにして本月一日より昨十日迄に當港より輸移出したるは粉米一百九十一石精米三千六十二石玄米二千百七十八石計五千四百三十石にして此內精米二百八十五石は大連行にして其他は悉く大阪揚げなりと▲海藻高 當商業會議所の調査による十月中の海藻廻著高は黑布二百五十一斤蛇布なし天草八千二百三十七斤椰草六千二百六十一斤銀杏草六千四百八十六斤イギス一千八十八斤計一萬八千四百二十三斤にして一月以降累計黑布九萬八千二百五十八斤蛇布十九萬三千六百十七斤天草一十三萬四千四百六十五斤椰草二萬八百九十六斤銀杏草九萬五千六百六斤イギス五萬三千七百二十一斤總計六十九萬五千九百六十三斤にして昨年に比し約十六萬斤の增加なりと

人事消息

▲高木商次郎氏（鑛業家） 十六日入京天眞樓へ
▲篠崎嘉兵衞氏（實業家） 同上
▲北村辨四郎氏▲小平修三郎氏（三井物產大連支店員） 同上朝鮮ホテルへ
▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長） 十六日夜入京浦尾へ投宿の筈
▲澁谷善作氏（長岡銀行常務） 十六日朝退京
▲横山雅男氏（内閣統計官） 同上
▲竹内進氏（咸南道技師） 同上
▲山口宗太郞氏 同上
▲廣岡惠三氏（釜山業） 同上
▲神作吉太郞氏▲古賀榮代一氏（會寧工兵隊附） 十五日夜入京天眞樓へ
▲楊州公立普通學校職員生徒 二十六名十五日午後水原より入京即日歸校
▲水野清氏（總監部警視） 十五日午後馬山晉州に向け出發
▲安河內武次郎氏（福岡商品陳列館長） 十五日午後福岡へ
▲中川湊氏（鑛業家） 十六日朝發內地へ
▲北經濟也氏（日本通信特派員） 十六日夜出發東上
▲田中收吉氏（東京日日記者） 十五日夜入京



鳳輦東へ　博多驛頭奉迎門御通過

●大纛を東に還させ給ふ

御機嫌美はしく博多驛御發車

大元帥陛下には大演習御統監の爲め遠く大纛を筑肥の平野に進め給へるは十六日午前八時四十五分博多驛御發車御還幸の途に就かせられたり此の日天氣晴朗にして鹵簿沿道には奉送者堵を爲し驛頭には文武百官の奉送あり　大元帥陛下には伏見元帥宮を初め奉り大山內大臣、波多野宮相、後藤內相等を從へさせられ玉歩濶かに御乘車君ケ代吹奏裡に鳳輦北に向ふ十一時十分門司著御正午下關御發車午後二時三十分三田尻御著同夜は毛利公爵邸に御一泊の御豫定なり（十六日午前十時四十五分福岡にて金谷特派員發電）

△關門海峽の警備

十六日大演習より御還幸の　陛下御通峽に際し門司水上署に於ては水上署汽艇防長丸、鴻城丸の二隻を以て御召艇ね風の兩側を御警備申上げ郵便局、鐵道院、商船會社、稅關等より借り上げたる十四隻の汽艇を以て更に防長丸、鴻城丸の外側を警備し港內の取締は東部海岸に繫留せる帆船漁船を總て築港內に集め西部海岸に繫留せる帆船漁船は西細江灣、伊崎灣、岬之町海內に碇泊せしめトロール船は總て江之浦附近に碇泊せしむる事に決定し水上署汽艇赤間丸を丸德合船に充て更に海峽通過の船舶を警戒する爲東部は金伏燈臺附近に西部は組板燈臺、巖流島、小門附近に各一隻宛の汽艇を見張船として通峽の船舶を午前八時より御通峽後まで差し止めたり（門司特電）

△三田尻の奉迎

大元帥陛下御還幸の途三田尻なる毛利公爵邸に御一泊遊ばさる旨仰せ出されし山口縣廳より黒金知事始め松原警察部長以下縣吏總出の有樣にて宮市前小路醫生寺に奉迎事務所を置き事務鞅掌中にて防府郵便局にては行在所內に同局分室を設け其他重なる供奉員宿泊所及び郡役所等凡て二十四箇所に臨時電話を架設する事となり廣島、松永、尾の道の各郵便局より十八名の電話工夫及び建築係員出張し來れり（門司特電）

△獻上の名産

山口縣より天覽に供すべきものは萩燒、小月燒、宇部干蝦、防府町柏木の檢溫器、大島郡熊毛、玖珂三郡の周防織物、下關大森の硯、岩國義濟堂の小倉織、岩國縮、關之戶の蚊帳、佐波郡八坂村の紙、大津郡仙崎及び豐浦郡湯玉の鰯、岩國及び萩の干香魚等にして獻上品としては山口町の大內塗帥、温州蜜柑なりと（門司）

（上）井口大將　（下）大谷大將

●强盗の上告　平南龍岡郡吾新面長里李義鉉（三七）は九月四日[illegible]され高等法院に上告を申立てたり又黃海道平山郡文武面齋巖洞李鐵九[illegible]は八月廿四日海州地方法院に於て[illegible]打し金四十五圓餘を强奪したる事件[illegible]等法院に上告せり

●連絡船上陸者名　十四日午前[illegible]

●豺（わくて）　獨立門附近に

京城獨立門附近冷洞百十六徐相勗妻李鹿子が十五日夜十一時過ぎ同洞百十五番地所在の共同井戶へ水汲みに行きたる際附近に野犬の如き怪しきものが浮動し居るを發見し薄月の光りに透し見たるに眼光爛々として犬に似たる怪物なるより同女は大聲に救ひを求めしかば附近の者馳け出し見たるも既に逃亡したる後なりき件の怪物は多分豺ならんとて目下附近の者は警戒し居れるが鍾路警察署にては尙取調中

●連絡船と郵便物　十五日釜山に入港す可き連絡船は朝夕二回共缺航せるに依り十五日夜及び十六日朝京城市內に配達す可き內地便郵便物は十六日夜三回分を一時に配達す

●合鍵で巧に忍び入る

京城北米倉町居住山梨縣北都留郡大村生れの橫內道治（三七）は十一月五日午後九時頃吉野町一丁目佐川某方家人の不在なるを見澄まし合鍵を以て錠前を取り外して忍び入り衣類十三點（八十圓）を窃取し卽時西小門町岸善一と僞名し黃金町二丁目の加藤質屋に入質せんとする所を手配中なる本町警察署の刑事に取押へられ嚴重取調べの結果同人は多數の合鍵を携へ前同樣手段にて前記の外蓬萊町二丁目鐵道官舍與某方にて衣類十一點（七十七圓）太平町二丁目加藤衣類十一點（六十圓）蓬萊町二丁目山羽衣類雜品三十三點（五十七圓）南大門鐵道官舍谷口衣類十三點（四十八圓）等を窃取し其都度大山兼吉、松岡藏吉など、僞名して入質して得たる金は新町遊廓巴樓の梅子を初め其他二三樓にて豪遊消費したる事判明せり

●馬を奪ふ　江原道洪川郡[illegible]山面待洞里生れの金貴奎（三七）は外三名と共謀し十月十五日夜小刀を携へ同道橫城郡晴日面大官岱里の峠の山路にて强盗を働かんと通行人を待伏せ居る際京城より居村に歸宅の途中なる李相九、徐基燮なる兩名が早くも之を見て大に恐怖し牽きゐたる驢馬一頭及び毛布二枚を遺棄して麓の村へ逃走したるを見て直ちに之を奪ひたる事發覺して檢擧せられ京城地方法院にて懲役二年の處分となれり

◇來年の日記帳

新らしい試み

十一月に這入ると直ぐに市中の書肆には大正六年の日記帳が何十種となく並べられた、新らしい物好み、の人達が爭つてそれを買つて行く、大正六年一月一日から其の

◇第一頁　より自分の歷史を書き付けてゆく快さを思ひながら、一月半も前から來年の日記帳を用意して行く人達の多くは忠實に一年中の日記欄を埋めて行く人ではないらしい、其の一頁に記入を始める時には既に

◇日記帳　が大變に古いものゝやうに思はれる事であらう、書肆の方から云ふと一日でも早く賣り出させばそれ丈他の發行したものよりも多く賣れると云ふ處から早い處では七月初旬に發行し遲い處でも十月の初めに發行して居る子供や

◇婦人を　相手にする雜誌が月初めから來月號を發行するのと同じ行き方だ、日記の內容を見ると年々歲々同じ如うなもので特色の有るものも新機軸を出したものもない、今少し

◇編輯上　の智慧が働きそうなものだと思はれる今年は多少は減つて居るが日記帳だか節用集だか分らぬやうなものや每日豫記だとか受信發信天氣寒暖などに各特別の

◇欄を設　けて居るのが少くない之等の事項は一般記事中に割込むか或は記事の冒頭に各人が記入する方が日記文の體として面白くもあり書き出しも容易であり又過去帳然として

◇歷史上　の出來事を頁の大部分を割いて掲載してあるがこんな過去帳は特別の人の外には必要はなく別に單行本も有る事だから日記帳の一半を割いて掲載するのは聊か蛇足の

◇嫌ひが　有る今年新らしい試みとして嘉悅女史の著した新式家計簿は家計日記帳として成効に近いものであるが日々の記事欄が缺けて居るのは殘念だポケット日記又英文日記帳などに

◇比較的　進步した編輯法を執つたものも有る大體から云ふと今年の日記も例に依つて過去帳の片端に日記文を書込むといふ範圍を脫して居らぬ

●前古未曾有の光榮ある

大本營の親任式

極めて質素な秋山將軍の日常

朝鮮駐劄軍司令官秋山好古將軍が十六日福岡大本營に於て陸軍大將に親任せられたりとの電報に接して早速龍山軍司令部を訪ふと副官はニコ〳〵しながら取敢へず

■『御芽出度う』の挨拶を交換して語り出すやう軍司令官閣下が今度大將に親任されたのはほんとうに突然でした大演習陪觀の爲めに出發された時は一寸も左樣な噂も無かつたので演習地から大禮服を至急に送つて與れろと電報で云つて來られた位でありました十六日の大本營の大將親任式は軍司令官閣下の他に井口前駐劄軍司令官と大谷靑島駐屯軍司令官と

■三將軍が同時に　大將に親任された事と思ひます、兎に角大本營の宮中に於て大將に親任された事は軍人として此れ程有難い記念は有りません從來の大將親任式を見ましても大演習の大本營に於て親任せられた大將は今回が始めてゞあります朝鮮駐劄軍司令官の官制は現役大中將を以て任せられる事に成つて居りますが、長谷川、大久保兩閣下が司令官たりし以來寺內總督着任後は方が駐劄軍司令官でありましたが今回は再び大將の軍司令官を戴く事に成りました秋山將軍の御家族は東京に居れます今度も大演習地から一先づ東京へ歸られ第一師團近衞師團の旅團特別對抗演習を觀られてから歸任せられる事に成つて居りますが令孃方の御敎育の都合上多分又御獨りで歸任される事と思ひます

■將軍の生活は　極めて簡易で官邸內に於てもお居間は二階に取つて在りますがそんな廣い處は不要だとて階下の應接間の一室を居室兼書齋に宛てられて二階は一切御用ひに成りません將軍は何事にも淡白で別に趣味として執著する程の事はありませんたゞ非常の讀書家で官邸に於ては常に

■讀書に耽つて　居られます此の他には乘馬の外殆ど道樂といふ程の道樂は何も有りません、秋山將軍は愛媛の舊藩士です今年五十八歲にならる今回親任せられた三大將の內でも最も年がお若いのです井口將軍は永く朝鮮駐劄軍に司令官として此方に在られたから將軍の性格はよく知られて居られ、が將軍は有名な潔癖の人で且つ物事を

■組織的に秩序　よく整へて置かれる方であつた今回の大演習には北軍司令官として偉功を奏されました、大谷將軍は靑島駐屯軍司令官として新領地の軍政並に民政を司つて居られるが其の政事的手腕は內外人の共に贊嘆する處で大谷將軍は將に親任せられ朝鮮、臺灣、關東州、靑島等皆陸軍大將の長官を戴く事となりましたわけです

●電車に觸る　十五日午後六時半頃京城南大門通四丁目江川菓子商店の雇人二名が荷車を輓きて南大門通り三丁目の電車軌道を通行中折柄進行し來りたる電車に觸れて車體諸共突き倒されたるが幸に兩名共負傷せざりしと

●豆腐屋の火事　十五日午後五時半頃京城櫻井町二丁目豆腐屋李源必方より發火し常備消防隊出動温突一間（損害約廿圓）を燒失したるのみにて鎭火せり原因は同日溫突を修繕し之を乾燥する爲め焚火したるに過度の火氣の爲め遂に發火したるものなりと

●入營者の見送り　在鄕軍人會京城分會にては新入營者の行を壯んにするため南大門驛出發に方り分會旗を立てゝ見送りを爲すべき事となりたるが入營者は出發前に大和町京城憲兵分隊內の分會事務所に書面にて通知さるべしと

●娼妓の足拔き　京城新町遊廓都樓事動木常吉方の抱へ娼妓富子事長野縣生れの小池ひで（二九）は十四日午後七時頃馴染客に面會の爲め一寸外出すると稱し立出でたる儘歸宅せず行衛不明となりたるより心當りを搜索せしも更に判明せず外出の際風呂敷包一個を持ち出したる形跡あるより抱主より其筋に搜索願ひを提出せりと

●醫生衛生講習　京城鍾路警察署にては本月十七日より二十五日迄七日間（日曜祭日を除き）管內居住の醫生總員百九十名を每日午後一時より四時迄同署樓上に召集し衛生講習をなす筈にて松井同署長の訓話小野警部、高橋警察醫より講話あるべしと

●洞民の亂暴　黃海道新溪警察署勤務の巡查補二名が去る十三日新溪郡栗面に出張し秋季淸潔檢查のことより洞民と衝突し約二十名の爲めに毆打せられたるが急報に接し本署より應援隊出張して主謀者三名を逮捕して目下嚴重取調中

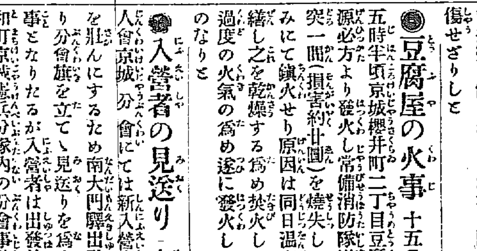
●全鮮虎疫死亡者　十五日迄の全道虎疫患者死亡に關し警務總監部の調査する所に依れば一千八百七十四名の患者中死亡者一千百十一名に達せり之を各道別並に內鮮人別にする時は京畿道三百八十名內地人十四名朝鮮人三百六十六名忠淸南道五名內地人一名朝鮮人四名全羅北道朝鮮人二十名全羅南道朝鮮人一百名慶尙北道內地人十六名鮮人四名黃海道鮮人七十一名江原道鮮人十一名咸鏡南道鮮人十一名の死亡數を示せり

讀者文藝（一等には五十錢の郵券を呈す）

▽和め繪

○舌切雀（一等）　龍山元町二岡本小草子

▲佳作　京城岩田鶴子、水原河野生、京城宮花翠庭、元山山本梅子、龍山松山生、京城竹孫明、同名倉卧二、大邱竹村生



■次回題　上圖の通り

◆會寧は零下十度

日支國境たる豆滿江畔の會寧地圖を披いて見ても其の寒氣の嚴烈な事を察知するに難からずだが今度來て見ると其の酷さは豫想以上である、現に十一月九日の如き烈風猛威を逞しくし

◆氣溫　は大に低下して零下十度を示した新月上旬に零下十度であるから其の嚴寒期たる一月中旬には零下三十度に下る事は敢て珍らしくない然も空つ風が吹き荒んで砂塵濛々事實外に出て面を向け得べくもない日が多いと云ふ、零下卅度はあらゆる水分を凍結さする尾籠な話しだが糞尿の如き冬になると全く凍つて終ふ左樣な

◆時期　が來ると會寧衛生組合の人夫は金棒と熊手を携へて糞尿の打ち毀し撤去に來るで冬の會寧には車上糞尿塊の山と積めるものや、籠に容れて市外に持ち運ぶのがあちこちに見られる、然らば其の糞尿塊の處分は如何にするかと云ふに郊外にセメントで固めた大穴が幾つも掘鑿され其中にドン〳〵と投げ込むやうになつてゐる

◆春が　近くなると何れの穴にも汚ない塊りは山と積まれ四月から五月に亘り漸次溶解されて行く、こんな風だから會寧各戶の便所の設備の如きも京城や南鮮のやうに瓶や桶ではすぐ破損して打割らるゝから大抵厚いセメントの叩きになつてるがそれでも一年に一度修理を加へねばならぬと云ふ、朝鮮銀行の社宅は中村技師が兩三回會寧に行つて設計及び建築に腐心した丈けヤーチか

◆備へ　の露西亞式建物が出來てゐるが、北の便所の如き糞尿塊採取時に剝れぬやうに十分の設備が施してある（會寧にて特派員）

讀者文藝課題及募集規程

■懸募集規程　▲用紙は端書又は洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名[illegible]

天氣　晴れ後曇り　十一月十七日[illegible]

[illegible]　日出　七時二十四分　日沒　五時二十二分[illegible]

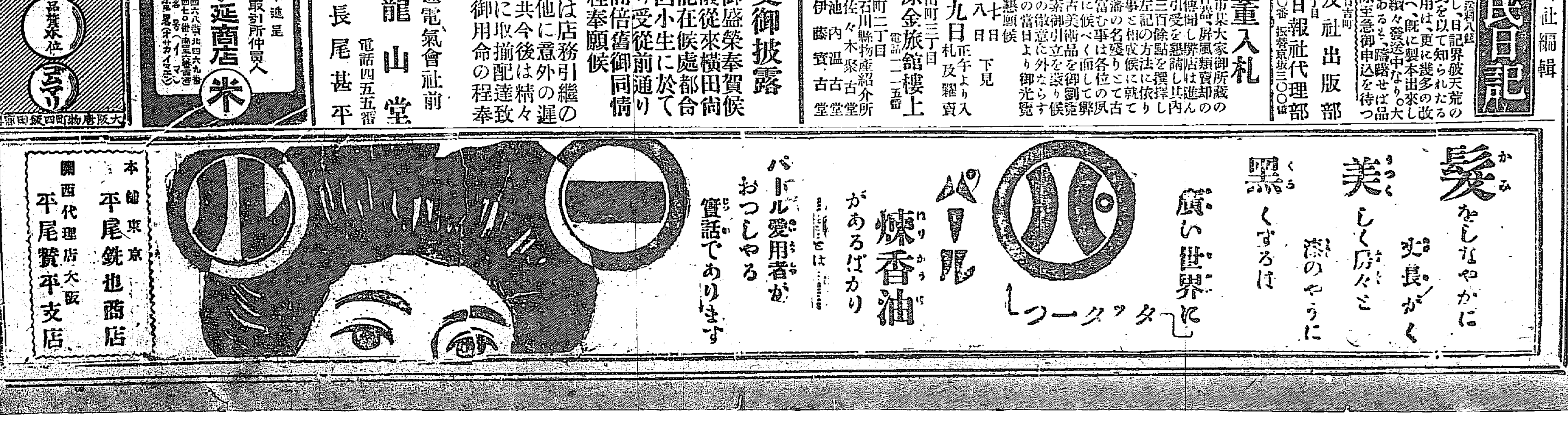
國民新聞社編輯
大正六年 國民日記
▲定價金四拾五錢 送料八錢
本年初めて刊行し日記界破天荒の意匠と用意周到を以て知られたる本書大正六年度用は、更に幾多の改良と工夫とを加へ既に製本出來し御注文に應じ續々發送中なり。大て數應需の準備あるも躊躇せば品切の憂あり、此際至急御申込を待つ
發行所　東京市京橋區日吉町　民友社出版部
發賣所　京城太平町一丁目　京城日報社代理部　電話六六〇番　振替京城三〇〇番

書畫骨董入札
今般石川縣金澤市某大家御所藏の古書畫、骨董及什器、屛風類賣却の御內意ある由を傳聞し弊店は進んで之が賣却方の引受を懇請し其內優秀なるもの約三百餘點を撰擇して當地に移入し左記の方法に依り入札及羅賣致候御承知の金澤市は舊大藩の古都にて書畫骨董類に富む事は各位の夙に御承知の事と存候斯くも同地の名品を御覽に供し候は弊店の素願にて御高恩に酬ゆる爲め何卒下見の當日より御光覽の榮を賜り度奉懇願候
下見　十一月十七日　十一月十八日
入札及羅賣　十一月十九日　正午より
場所　南山町三丁目　原金旅館樓上　電話二一二五番
催札主　本町二丁目　石川縣物産紹介所
同補助元　佐々木聚古堂　池內温古堂　伊藤寶古堂

●讓受御披露
各位益々御盛榮奉賀候降而弊堂儀從來橫田尙二氏經營罷在候處都合に依り今回小生に於て全部を讓り受從前通り營業致候間倍舊御同情御引立の程奉願候
追て本月は店務引繼の爲配達其他に意外の遲延致候得共今後は精々注意迅速に取揃配達致候間續々御用命の程奉懇願候
龍山漢江通電氣會社前　書籍雜誌　文房具　學校用品　龍山堂　電話四五五番　店主　長尾甚平

期ス今延商店　米
致富之粱進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
電話[illegible]

M EP　品質本位　ゴマリ
大阪唐物町四　飯田商店



方法院に於て懲役十[illegible]を所持[illegible]るを不服とし控訴を申立て覆審法院に於て審理の末十一月七日控訴棄却し居るを見て同夜呉が歸宅の跡を追ひ坪村洞に近き麥畑にて同人を毆[illegible]し同院に於ては其後審理の結果前判決を取消し懲役十年に處する旨十一月六日申渡したるより被告は高[illegible]

◆巨艦伊勢
進水式參列記

(三)

◆凡そ軍艦の主要目は攻擊力防禦力速力の三點にて伊勢は從來の世界造艦術の趨向に察し建造せられたるものに候されば實戰に鑑み多くの大戰艦に缺如せる處の快速力を出來得る限り增大し最新戰術に對する主戰艦の要素を極めて適切に具備せる由に候、之等の設計は全部我が海軍の考案に成りたるものにて此の點に於て同艦は全く日本獨得の戰艦に候

◆記者は今日此の巨艦の進水式に臨み往年の我海軍力に想到して其の威力の增大に驚喜する次第に候、去る明治二十七八年の戰役に於て帝國海軍の主力艦隊は松島級の軍艦にして其の噸數は四千三百噸長さ二百九十五呎速力十七節十二吋砲五門四吋七砲十一門に過ぎず候

◆三十七八年戰役に於て帝國海軍の主大戰艦は三笠級にして其の噸數は一萬五千八百噸長さ四百呎速力十八節五、十二吋砲四門八吋砲四門六吋砲六門なりしが其後巨艦主義實現して一萬九千三百五十噸の薩摩艦建造せられ其速力二十節五、十二吋砲四門十吋砲十二門に候ひき、然るに其後二萬八百噸の戰艦河內は建造せられ候、其の主砲は十二吋砲十二門を備へ初めて弩級戰艦を帝國海軍に加ふる事と相成り、次で戰艦扶桑を建造し、今伊勢の進水式を行はれたるは實に我海軍非常なる進步と我國造艦技術の顯著なる發達とを徵象するものに候

◆殊に三十七八年戰役後我國製鐵鋼の技術進步し內地產の材料のみを以て曩に榛名を今また伊勢を民間造船所に於て建造し得たるは我軍器の獨立を證明するものにして洵に欣喜に堪へず候、尙此の上は建造年月の短縮を切望いたし候

(四)

◆同所にては進水すると共に直に艦內の機關据付に著手し夫れより艦體の裝甲工事を施し艦載砲は十四吋主砲十二門を始め六吋副砲十八門機關砲八門と共に呉海軍工廠及び室蘭製鋼所にて製造して取付くべく此等の艤裝工事全部竣功するは來年十一月頃にて其れより紀州沖合に出動して數次機關運轉速力汽笛其他種々なる試驗を行ひ更に實地水雷發射各砲實彈射擊試驗等の後十二月海軍省に引渡さるゝ豫定に候へど海軍省にては一日も早く完成せしめん意向なれば豫定より早く竣工する筈なり、而して竣工の上同艦には千五百餘名乘組む由に候

◆目下建造中の英國新戰艦の十八吋主砲四門速力二十六節、米國新戰艦十六吋砲十二門排水量四萬二千噸速力二十八節、軸馬力二十萬、推進器シャフト六本(伊勢四本)に比すればもとより遜色ありと雖も現在の列國海軍に於て我伊勢艦は最大威力たるを失はず候

◆倘し夫れ伊勢艦にして艤裝全く終へ威風堂々山城、扶桑、日向と共に超弩級戰鬪艦隊となすに到らば我海軍の威力は蓋し驚くべきものあらんとぞんじ候

◆記者は斯の如き戰艦が逐次我民間の造船所に於て建造せらるゝを見、造船術の進步發達の跡を顧みて今昔の感に堪へず候、而して我造船術の一大進步を衷心より慶賀するものに御座候、當局及び造船所は決して現狀に滿足せず益々改善向上を加へ一層の發達を囑望いたし候(大正五年十一月十二日—大阪にて齋藤生)

◆冬向きの色と柄◆ 今年流行の男の著物

今年もいよいよお寒くなつて來ましたが、男の冬支度は外出著にも平常著にも毎年新しいものが考案されます。今年の流行を調べてみますと

◆著物は色合は濃い茶地や黑地が喜ばれ、縞柄は細く、茶に鼠を加へた撚りがらみや霜降風の柄合が多い樣であります。そして地質は平地にして柔かなものが受け、意氣向には地質の餘り厚くない縮風お召風の樣な文織、經綾織、浦綾織、冠束織などが向き、一般には光雅織や華綾織、高貴織などが歡迎されて居ります又實用向きでは節糸織、消綾織などが體裁がよくて經濟に適して居りませう。それから洗濯や洗ひ張りの利くものでは本場の秩父銘仙で米澤や普通の紬絣は近來技巧の精練された結果大分織方に進步を示す樣になりました又羽織の方では

◆無地物が流行で、地質は綾糸織や無地大島紬、節消綾織などが勢力があります。尤も中には氣取つた好みとして無地の花園織などもありますが色合は栗皮茶地、利久茶などがすべてを支配し

◆高貴織の紺と茶を撚りがらみにした樣なものも輕裝向きには喜ばれて居る樣です、そして裏地は羽二重の友禪更紗が最も流行して居ります

□京城秋八景—(六)本町の夜

宵からの一ざわめきが過ぎて十一時頃の本町の通りは淋しいものだ、そこ此所の窓がなショーウインドーも鎖ざされてなへやきうどんや平壤栗の赤い提灯がいやに目に付き出す。こうした靜かさを破てよひどれの一群れが外套の襟に首をすくめつゝ闇の中に消えて行く、突然後ろから塞むそうな太くふるいた高麗燒よー—と言ふ聲が聞ゆる。この哀れな鮮人の酒蒸賣りはこうして毎夜々々寒さと飢とにふるへつゝ街を彷徨てゐる。—とみ—

◉武術會秋季大會 武術會にては來る十九日午前九時より憲兵隊司令部道場に於て柔道を主となし秋季大會を開く由

◉教員養成所修學旅行 京城中學校附屬教員養成所職員生徒三十七名は內地修學旅行の爲め十六日午後七時釜山發同八時半出港の連絡船に移乘し出發の筈にて歸鮮は十二月二日の豫定なりと

◉山口家の慶事 山口太兵衛氏の次女滿壽子は鮮銀總裁部勤務秘書役永谷隆志氏夫妻の斡旋にて今回山本利雄氏と婚約なり十七日午後六時南山町京城ホテルに於て華燭の典を擧ぐる由

神社とお寺と教會

○金光教鮮人部大祭 永樂町金光教會內地人秋季大祭は去る十二日擧行したるが同教鮮人部の同祭は來る十九日午後一時(陰廿四日)同教會に於て擧行諸式典は內地人の時と異ならず式終つて天野龍山教會長(金光教道際)の說教ある由因みに同教鮮人部布教師李加藤平壤教會長は本月二十一日夜八時より同教會所に於て布教演說を行ふ筈

○曹谿寺(大和町三) 十七日午後一時より觀音普門會の說教並に供養あり

○天理教會(壽町) 十六日午後八時より青年會あり

○西本願寺(若草町) 十七日午後七時半より明如上人の御逮夜說教あり

○曹洞宗別院(若草町) 十七日午後七時半より觀音講執行

○延安邑日蓮宗布教所(黃海道延安郡) 十二日午後一時より宗祖日蓮上人御會式法要を謹修し黑澤孝善師『日蓮上人の大人格』と題し說教あり夜間は幻燈會を開き參詣者多數盛會なりし

商況

東京株式特電

諸株又掘發す

	十日前場寄付	大引
日本郵船	—	—
京城電氣	—	—
鐘紡	—	—
同新	—	—
日本石油	—	—
東株	—	—
同新	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—

債券現物特電

十一日出來値段(前日との比較)

	東京
東拓	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	—
朝鮮瓦斯	—
南滿鐵道	—

公債直取引 東京特電

十六日出來値段(前日との比較)

五分利特別	九九、九〇
五分利	八三、九〇
四分利	八二、九〇
一回五分	九九、九〇
二回四分	[illegible]
甲五分	[illegible]

深川在米特電

十六日現在高	
朝鮮米	一五、一七七
內地米	七七、四七七
臺灣米	一〇、五五一

東京期米特電

十六日前場	一月限	後場
寄付	七一、三〇	—
高値	七一、四〇	—
安値	七一、二〇	—
止め	七一、四〇	—

大阪三品特電

	十五日後場	十六日前場
十一月限	八三、五〇〇	八四、八〇〇
十二月限	八四、〇〇〇	八四、七〇〇
一月限	八四、九〇〇	八五、四〇〇
二月限	八五、四〇〇	八六、〇〇〇
三月限	八四、九〇〇	八五、一〇〇
四月限	八四、七〇〇	八四、六〇〇

大阪期米特電

	十五日後場	十六日前場
十一月限	八三、五〇〇	八四、四〇〇
十二月限	八四、〇〇〇	八四、七〇〇
一月限	八四、九〇〇	八五、九〇〇
二月限	八四、四〇〇	八五、六〇〇
三月限	八五、五〇〇	八五、五〇〇
四月限	八五、三〇〇	八六、〇〇〇

下關期米特電

十六日前場	當限	中限	先限
寄付	一六、一〇	一六、二八	一六、六〇
止め	—	—	—

雜報

十六日前場 臨下關海道以下休會

	當限	中限	先限
寄付	—	三五、四〇	三六、〇〇
高値	—	三五、四〇	三六、〇〇
安値	—	三五、三〇	三五、九〇
止め	—	三五、三〇	三五、九〇

●牛皮重目物好況

牛皮は前報の如く歐洲軍靴注文の決定近きにありとの噂さに一時氣直り模樣に傾きしが其後の大阪市況は依然面白からず今尙形勢傍觀とも云ふべき振合にて更に買進み來らず原皮の標準となり居れる飛給の尤も多き中皮は相變らず正味の七十圓處を持合ひ居れるが最近に至り中皮と反對に氣勢を昂げ來れるは大皮にして平素中皮の下位にある本品は適飯乘同格より更に上位に進み今日にては四圓高の正味の七十四圓を唱へらるゝに至り中には皮の買値へなるに反し出口の注文輸出の姿を呈し居れるが斯かる成行きを呈するに至りし原因は製革業者に於ける軍需注文準備品購用に對する補充を要しつゝあると銀塊高による支那皮の價格昂騰に輸入の減退となり內地市場の在荷稀薄を告げつゝあるが爲めなり

●麥粉は强硬

內地製粉の對英輸出は其量のみ大にして船腹の關係上到底需要するに足らざるのみならず好望視せらるゝ南洋方面の輸出も需要程度に限りあるを以て豫期の過剩粉處分問題は依然難案に屬すとは弱氣筋の觀測する所なるが一方製粉の激增したるのみならず水車粉の激減は機械粉に對し補充需要を促し其南洋支那方面に於ては米價に代つて益々需要を喚起しつゝあるを以て粉界の前途は決して悲觀を要せざるべく多

各地商況

○木浦(十五日の穀物) 時化模樣と農繁期の爲め船來北に依然として穀物少く一寸ダレ氣味本日の穀物の廻著高は二百俵內外にて一時氣の暴騰は殆んど自然的の相場なりしも賣手は未だに少く廻著も惜しみの狀態にありと昨十四日取引されたる十三圓七十錢よりも多く三圓七十錢より五錢を唱へ居れり大阪とも自然不引合にて取引き模樣なりと見受けらる

○玄米(保合) 期米は其後一寸回への爲め殆んど取引は皆無の有樣なれども上格玄米十三圓十三錢見當下格玄米十三圓七八錢見當なり

○大邱(十五日の穀物) 玄米も籾と同じく大體の前狀より下げにて上格もの十四圓三十錢を突破したる段氣は更に市氣振はずジリ下げにて商內もなきが如し

○玄米弱氣 內地期米の不勢に連れて其後の出廻り多かりき賣方は常期を控へ賣段安くは手放さるゝに依り格別人氣には何等の成行きにあるより漸く賣人も時分柄と相場に應ずるなど自然

○白米も同事弗々見たれども何樣玄米の折柄に伴つて弱保合

○大豆保合 可成の需要地方面には特殊の需要あり釜山方面に移送し相場保合

○小豆も保合 產地品薄の爲め出廻り少く一方買氣も多からねば相場は相變らず保合

●鹽魚類閑散

鹽魚及び干魚類は其後俄々人氣落ちたれるも本年は總じて相場の居所高き爲め朝人向移入品の如きは元來が賣行き良好ならざりし上に鮮人漁業の仕込み時期に當り一層賣行き不振を呈し居れり

●砂糖伸惱み

內地糖の如き勢ひなるが輸出糖は聊か需要の減少に累はれ居れるも發許引續き需要不振にして人氣引立ち兼ね居れり當業者の底意は一般强き方なるも兎角伸惱みの風情にて矢張り一二圓高に居据りなり前途分は値上げの望みなきが如し

●染料は强硬

染料は依然需要一般强硬にて目下荷動き閑散を呈し居れり染部は持合ひの裡にも一般段落後にて目下荷動き閑散を呈したるを唱へられ殊にベンゾールに至つては益々品がスレの聲を高め本品のみは騰り相場昨今の賣買は百五十圓內外に上り居れり

●牛蠟相場奔騰

牛蠟相場は品質良好にして價格割安なる滿洲產品が同政府の禁輸令を發布されしたると內地在荷の漸減したる等にて九月以來昂騰し十月初め百斤二十六圓なりしもの現下三十五六圓を唱へ而も近來國及び支那市場の奔騰に引連れてなほ引續き上騰すべく人業者並に積極使用者の間に豪らず兎角米國品及び支那品の良好ならざる上に支那滿洲國商人の手にて露國方面へ多量輸出ありたるため價格暴騰し目下の所使用を喜ばざる有樣にて滿洲牛蠟の輸入によりて日下の窮狀を救濟するの外なしと

京城正米

期米は更に高模樣にて正米氣配も强含みなるも日本側精米所の定例休業にて商內行はれず

南大門の廻穀

平澤白米	九一叺	鳥山白米	三〇叺
平澤玄米	五四叺	鳥山玄米	二〇叺
仁川玄米	三三叺	水原白米	一〇叺
仁川玄米	二八叺	水原玄米	九〇叺
鳥山白米	八五叺	水原玄米	五六叺
鳥山玄米	一四叺	水原籾	三〇叺
水原白米	二〇叺	水原籾	七〇叺
水原籾	三一叺	金村籾	四六叺
長湍白米	一九叺		

仁川現物市場

▲搗入津千餘俵なりしも前日同樣買氣なく一般に停滯

▲正米入津少く市况不振なり

▲大豆入津少なし

釜山穀物市場 十五日

▲正米(保合) 一時小往來なりしも大阪米も昨日後場より氣直りの傾向を示し當地正米は稀に持直しの氣配を見るも值は不引合の爲め精米者は買入を見合せ居れり

仁川期米

▲十六日前場 前寄十六圓八十六錢天候晴天

前寄十六圓八十六錢安の入電二節八十五錢と昨止より七錢安の移にて常地高十二圓四十八錢より五十七錢安に寄付たるが大阪三節八十九錢四節九十二錢と高移になり六節十七圓〇三錢と暴騰に新規に買物益多く遂に沸騰

▲十六日前場 當限前場引

十六日前場			
當限	十六圓八十五錢	十六圓八十七錢	十六圓八十五錢
中限	十七圓七十錢	十七圓八十錢	十七圓七十五錢
先限	十七圓八十二錢	十七圓八十九錢	十七圓九十錢

▲十錢に顏合せ 昨日より十錢の高值を示しした事は前日の高値八十錢を上越すに至り

▲前場の手振 商內重なる賣方にて如何に擊退される此鼻一擊

▲遂に沸騰す 天候晴天 大阪は勢を受けて十二圓六十二錢まで騰貴し成行は追隨して賣物も尠なかりしが

▲籾正米界の益好況 籾正米は前場に續いて市況好調

市場雜聞

▲今大に賣る 今前場同店より一萬餘石⊕各九千餘石全⊕各千餘石にて他は小口商內であつた

▲翌大に賣る 前場同店より賣りたる玉數無慮一萬千餘石に入りたりとの事一面二千餘石の買ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲⊕能く賣る 前場同店より賣りたる玉數七千餘石に上りたりとの事にて市場の噂に依れば同筋も終に軟化したりとの事

▲⊕大に買ふ 前場同店より買ひたる玉數三千餘石に上りたりとの事一面千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲⊙大に買ふ 前場同店より買ひたる玉數無慮一萬餘石の買ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲⊙の大商內 前場同店より買ひたる玉數九千餘石の賣ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲㊀の大商內 前場同店より買ひたる玉數七千餘石賣りたる玉數八千餘石に上りたりとの事にて大に市場の注目を惹いたり

▲邑の大商內 前場同店より買ひたる玉數五千餘石賣りたる玉數八千餘石に上りたりとの事にて大に市場の注目を惹いたり

▲高値顏合せ 前日大阪の暴騰を受けて十二圓八十錢と上伸し爾來五十錢台に押し保合を持續し居りたるが今前場大阪の昂騰に連れて再び十二圓八十錢の高値を現出し茲に顏合せを見せたるが目先利喰賣の續出に逢ひ上廻る能はずして前場を了る

▲精白米の注文益多し 大阪沖著十六圓入に正米の情勢は精米筋の新規註文ある者ある如く正米の買入に汲々たる者ある如く

▲前途果して如何 一昨日後場以來又々時勢買の再燃によつて前場の期米大大阪十五錢更に大阪十五直し今朝は大阪十七圓五十錢の高値十二圓八十錢となり前の高値を誰も賴み難く實ど形勢は事情と相場の暴騰によつて買氣の勢ひは頗る活躍に高まり一般の狀態なるに勿論此際とせば何とか穩當の說もあれども今後如何なるか先づ前場米の作柄状勢によつて今日の相場は上るとも下るとも未だに豫測し難き當業者の意見を聞くに米價の前途は決して樂觀すべからず

▲蓉に牽制的賣壓 十日々活況を呈し居る等當局は事情に依つて持ち續け居る居より目先今筋の買向に向ひ賣る居るは前場の如く尙中限に向つて買向しを居る

▲先限に向つて崩れ新規に買物益多く遂に沸騰 入れたるより此の機に於て實際に懸念すれば大なる期米は早晚爆發を見るべし

仁川米豆取引所

十六日の一月限

明場	寄付	止め	高値	安値	出來高
前場	十二圓六十三錢	十二圓七十五錢	十二圓八十錢	十二圓六十錢	四萬五千石

午後値段		
一節	十二圓六十三錢	
二節	十二圓六十三錢	
三節	十二圓六十三錢	
四節	十二圓六十四錢	
五節	十二圓七十錢	

賣買取組高		前日と比較
十一月限	一萬九千六百五十石	三安
十二月限	二萬二千五百石	八高
一月限	十萬三千八百五十石	一三萬
十五日後場	二二、六六四 二二、六七七 二二、六六六	一一安

白米取引所 三巴仲買店 京城府南大門通 電話(京城)四〇二

目ニ見ヘテ キクトンズ イタマヌ ジュマズ 井上博士 ロート目藥 眼病を、不潔い布や指で擦るのは目の疫に悪いからロート目藥に添えてある下圖の樣な新案の點眼器を… 全國各藥店にあり 定價大瓶廿錢、小瓶十錢 本舖…東京…大阪…山田安民藥房

結核專門 古賀病院

專門 印半天 化學應用 洋服丸染 京城魚市場隣(電話二八五七番) 若宮染工場 特に厚司襟は三本一組八十錢にて染上仕候

著しく胃を爽快にする 强胃消化錠 マーゲン 島田藥學博士鑑査 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五丁目 島田春海堂

質 京城黃金町二丁目 永樂町(滯留所北入) 堀佐營業所(電話六三九番)

新荷著 スイツ製 懷中時計 堅牢示針機械正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
ニツケル側 十八形 二圓五十錢 同 十八形(片蓋) 二圓八十錢 同 十六形 四圓三十錢 同 十六形 六圓九十錢 同 十七形 二圓三十錢 同 十八形 五圓 金側 ラヂユーム付目覺 十八形 十二圓 金鍍金 十六形 六圓 同 十八形 二十圓 十年保險 十六形 二十八圓 二十年保險 十六形 一圓五十錢 銀側 十八形 一圓八十錢 以上三百圓迄各種
右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの決して願はくば急速御用命の御一覧を乞ふ御地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商 イングレツソレー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番

板硝子各種 英國製壁紙 入荷 釜山本町 ㊤村上商店 電話五番

雜貨卸商 釜山大廳町壹丁目 明治屋本店 御取引は誠實親切 迅速確實低廉 明治屋本店

青竹入荷 釜山港 島末材木店

味の素 朝鮮特約店 洋酒罐詰商 あづまや商店 釜山辨天町

CONFECTIONARY WINE PROVISIONS DEALER 洋菓子 英米直輸入 ミヤトミ商店 電話六四 三河屋の洋菓子 乾ブドー ミキス下ロット カルミンキヤラメル ガレンシン ウヰスキー ムインガチ ビスケット コロコア 食料品 洋酒 藥品

カーバイド ダイヤ印燒酎 アルコール 福榮商會 釜山

月刊商報發行送呈 釜山本町三 近藤商店 電話 八六七 振替 八五三

日鮮雜貨 鍋釜金物 卸問屋

於施政五年共進會 銀牌受領 石鹼改良唐箕 萬石千石摺臼通籾 各種製造販賣 朝鮮勸農商會 釜山本町二丁目 電話二六九 振替京城一五四八

內外雜貨卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八〇二番

洋酒罐詰 蠟燭茶 石油 雜貨 荒物 卸問屋 釜山辨天町 ピワコ屋 電話七〇五 振替京城一六〇五番 (月刊物價表發行)

金山著名商店

記に限る)

宮本武藏

第二百十八席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

浪江は涙を拂ひつゝ 浪『貴下も御存知の通り夫は獵が好でございまして暇さへあると鐵砲弓矢を携へて猪鹿の類を射まするのを此の上もなく樂んで居りましたが、先達岩手山に於て一疋の怪猫を退治ました處が、其の牝猫が居りまして其の爲に爪を立てられとう〳〵それが原因で死去つたのでございます 一『イヤそれは何うも殘念なことをいたした、嘸ぞかし御愁傷でお在なさらう、猫の爲に一命を奪つは返す〳〵も殘念の次第、然て又御母公は 浪『相變らず壯健でございますが、宮本樣貴下だからお話しをいたしますが、其の母親のことに就て何うも心得難いことがございます 一『ハア、合點のゆかぬことゝは 浪『左樣、夫が死去なりまして以來、何うも母上の樣子が變りまして御年を老て居らつしやるから成るたけ軟かな物が宜からうと撰つて上げると、こんな歯でたわのないものはおいしくないと云つて召上りません、若い者が喰べまするやうな固いものを喜んでお食り遊ばし腥臭い物や乾魚はお嫌ひであつたのが此の節は大層好にお成り遊ばし、それに風呂へお入りになるのがお好で居らしつたのが、明日にしやう明後日にしやうと被仰つて、お召になりません、又申し上げると寒けがするから見合せるなぞと何うしてもお召にならない、嘸ぞ垢じみて居るだらうと思つて見ると、何時の間にか清潔になつて居て何だか何うも合點が吐きません、殊によつたら牝猫でも魅れたのではないかと、そんな事は召仕にも話は出來ませんから倅の小才治と共に折節心配をいたし何うしたものだらうと相談いたして居りましたが、貴下故お話しをいたすのでございます 一『ハア、イヤ何うも以ての外の話しを承つた、今日は離れ家にお在でございませうから烏渡參つてお目にかゝつて、何ういふ樣子だか拜見をいたしたら大概判らんこともございますまい 浪『イエ、何でございますよ、今日は臥床て居りまする、一『ハア何うかなされたか 浪『昨夜厠へお出になりまして過つて庭に落ち、腰を石に強く打付けたさうで、腰が痛んで何分起られないとお寢て居らつしやいます 一『ハア庭に落ちて腰を痛めた、何時頃で 浪『左樣でございます八ツ少し過ぎでございませう 一『八ツ少し過ぎ ハテナ、然し見れば長光寺の本堂に於て怪猫に斬付けた時は確に腰の邊りを斬たと思ひしが、倩は彼の怪猫かな 浪『何でございます 一『イヤ此方のことで、兎に角手前が烏渡御挨拶をして參らう』と一刀を携げて離れ座敷へ來て見ると、此處は隱居所で枕頭に屏風を立廻して寢て居る、一『御免下さる樣 母『誰じや 一『イ、江戸の宮本二天にございます、母『ヤレ〳〵宮本か、能く來なされた、今起きますから 一『イヤお痛の處がお在りなさる由を承はりました、其儘お寢みなすつて居らつしやる樣に、態々お起き遊ばすにも及びません、御痛み所は如何でございます、母『さしたることも無いが、年を老るとうしても若い時と違つて少しの傷でも身體が利かなくなつて何うやつて寢て居るので 一『それはお困りでございませう、御大切に遊ばすやうに』と枕頭に座り込んで熟と顔の樣子を見ると、暫く打絶ねて會はなかつたとは云ひながら小大夫の母に違ひない、處が熟々顔を凝視て居りますと、お婆さんは決して顔をヂツとして居ない、右に向き左に向き彼方此方に反けるのは見苦しいやうで、と云ふのは瞳孔を見られるを甚く嫌ふ、能く云ふがチョイ〳〵氣の變る人のことを、彼奴は猫の目のやうだと申しまする位、猫の目は時間によつて瞳孔が種々に變ります、熟と瞳孔を見られまするとと化猫が露見をする、それ故彼方此方に反けまする、何だか樣子が訝しいから 一『後刻又お目通りをいたしまする』と其の座敷を立出ました。

肛門病專門 痔疾注射

(十一月十二日より向一ケ月間)

診療時間午前九時より午後九時まで 京城南大門驛構内二見旅館内

肛門病專門 院長 久枝秀喜

『患者參考』最新式痔疾根治注射療法書申込により進呈す

外科一般 皮膚科 花柳病科 泌尿器科 院長 安部修三

京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九五

曆

十一月十八日 九星 舊十月廿三日 巳未 本命 五黃 八方成 友引

●五黃● 物わすれする事有る日注意新事見合すべし ▲六白● 順利の日轉居入學介談は吉 ▲七赤● 成功の日轉居開業求職名弘家作井戸掘求醫嫁娶取引萬吉 ▲八白● 力身損の事有る日新事手控へ旅行轉居入學は見合すべし ▲九紫● 理想叶ふ日轉居入學行商土工は妨なし ▲一白● 建築分件總和土工請負菜蒔萬吉 ▲二黑● 面倒となる事有る日新事手控へ舊事は吉衞生に注意せらるべし ▲三碧● 思はぬ散財を生ぜんとす新事手控へ舊の事は吉 ▲四綠● 虫のすかぬ事有る日新事手控へ舊事は吉女子は行儀を守らるべし ▲五黃● 不ស್な事有る日新事手控へ舊事は吉買物に用心せらるべし

演藝案內

浪花館 明治町 電話二六〇

△九日より朝寢坊むらく改め橋本川柳一座來る △出演番組(三遊社幹事 生粹の江戶落語三遊派本都遊)△昔ばなし(曲藝朝寢坊しらく)△笑話(かけ合噺し)△落語(少年ばなし)△おとし噺し(花の家櫻八)△家橋松(夢の家家三郎)△笑福亭(歌舞)△大阪落語(扇子舞(立花家橘之助)△落語(歌の家市兵衛)△音曲ばなし(雀家)△落語(橋本川柳)○人情話やりさびぶり ○毎夜正五時半開演仕可候

御成座 御成町 電話一一九一

第二十五回替題 泉鏡花氏作 (一)女爲地山 悲劇晴小袖(全五場) (二)(全三場) 姉末子(花園一)お染(峰次)若見(刑事森井)長谷(光子)妻(お近)(岡部)健之助(師籍員山田)川上(淫賣婦(吉野)藝妓(お玉(津田))番生(雲平)中山(支那人李(中本)紳士、外人ケイコップ(山田)、船頭(仲吉)お蔦(小森)乳母(おたよ)職工(小紳士)船(松平)、公(小松平)剛三(明石)松島保(左工門)探偵(志賀)(武作)男(長井)の本(日野)橋本健左衞門(靜岡)

大正館 櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ○十一月十五日より特別興行大寫眞提供 ○滑稽『巴里に於ける菊花園』○實寫『巴里の菊花』○喜劇『幸福な令嬢』△立花貞次郎扮する可憐の娘 ○新派活悲劇『犯さぬ罪』(全三卷)△兄は無實の罪を蒙りて獄中に繋がれ盲目の父と幼なき妹を擁し、貧苦となりて生計を立つる可憐の娘惡漢に戀慕され苦肉の策の犠牲となり兄妹の涙、俠客の義憤萬丈の波瀾は父の辛酸の悲哀と共に快味ある悲劇△佛國パテーフイルム會社一大傑作極彩色 ○軍國大活劇『交戰』(全五卷)△佛國有爲の青年士官ハルデー中尉は飛行術練習の爲め獨逸へ派遣せられ某飛行將校の家に寄寓し令嬢ソナと相思し互に兩親の許諾を得て結婚せんとする折歐洲大戰勃發となり中尉は令嬢と袂を別ち悲しみの大禍を帶びて活躍す佛獨の戰雲暗澹破裂の險悪極大空中の火焰に包まれたる飛行機落下一戦機空中の大戰爭地上の大血戰勇士の悲壯なる精神を描く大寫眞 ▲尾上松之助一派出演○舊劇『由井ヶ濱大仇討』(全三卷)▲武士の本領として同家中の危難を救ふ英雄、熊谷小太郎反て惡人藤田民部の恨みを受けて忠僕三平は不在中に父及弟は民部の爲めに殺され太郎に怨を報ゆる小太郎は此の許に至りて東海道由井ヶ濱に於て父の仇を報ずる松之助得意の大活劇日活最近撮映の寫眞

有樂館 本町一丁目 電話二六六

日本活動寫眞株式會社特約 十一月十七日より新寫眞提供 ▲實寫ブルガリヤの首府ソフィヤの風景 ▲喜劇蛸の巻 ▲喜劇輪子の主 ▲新派大悲劇『色たずな』(全三卷)良家の一少女惡漢の爲めに其の父を害され假狂者となりて遂に其の眞情を探りて仇を報ぜしも身は刑罰を受くるに至る情年を迫を誤て少女を泣かしめ奸夫の罪を蔽ふて身を免かれんとする新派大悲劇 ▲伊太利タラ合社特作品○正劇『京上臈』寂長唄背年飛行に戀せる女優『子リー』は彼れ一度を傾けざる悲嘆して遂に看護婦となり偶々飛行家大飛行の折一動機の故障にて墜落して入院せるに會し遂に同樣の新...

大正館

大好評の 鮮麗優美天然色大寫眞 歐洲大戰亂 軍事大活劇 交戰 ●怖るべき……空中の大決戰!! ●慄然たる……地上の大血戰!! ◎由井ヶ濱大仇討 尾山血河松之助得意の十八番物

黃金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下)

大然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 カシノ商會 ○十一月十四日より差替特別大寫眞 ○滑稽『憑き電車』○實寫丁抹國の海軍 △米國ユニヴアサル會社大傑作 ●探偵大活劇第四編第九編(奇怪な騎手)先驅ナ怪物(一少雛)探偵クレーが神出鬼沒の活躍振を見せる ◎新派連續悲劇『渦卷く浪』(全四卷)兇夜中の兄の…花の狀…眞の美人の妹…其の妹亞刑利加に至り其の大作として近く大阪樂天地の大捐影△最新ユニヴアス應用…呈に切りて用ひ申候の最新ユニヴアス應用實演映寫 (一回分)寫眞十回分交換仕り候

稻荷座 京城本町五丁目

▲十六日午後六時半より ▲京阪落語別派三升家會 御祝儀(伊勢參宮落語音曲(三升家紋四郎)、大津宿落語(同紋二郎)、素人船落語曲藝(同紋二郎)、質屋問答落語手踊(同紋之助)、みかん屋落語手品(同紋弗)、あみだが池落語手踊(同紋八)、耶宗息子人情噺し(同紋六)、辻うら茶屋落語(同紋七)、三味線音曲踊り(同紋十郎)、果上り掛合噺(同紋之丞)、今様落語(同紋兵衞)、掛合新內(同紋太夫)、中華民國人曲藝(張玉福)、落語に若柳流扇舞踊(同紋右衞門) 舞振り附け(若柳吉彌)

●大切所作事座員總出 落語芝居喜劇本郷本衣裳使用 ○城屋道成大内鏡葛の葉子別れより狂亂早替りよしのかわり

こんなよい子供

の出來たのは命の母で子宮病が治り身體が丈夫になつたからです身體を健康にするには北島佐藤西巻三醫學士の書かれた

婦人病者の心得

をお讀みなさい本書には姙娠の原理から婦人病一切の治療法が詳しく説明して有升之は本家へハガキで申込次第無代送呈

福岡縣田川郡上野村 内山あつ子

女子出産の禮狀

某市愛宕町 香川熊二郎君愛兒

健男子を產むだ感謝

小倉市魚町一 島中百合子夫人愛兒

愛兒を擧げた

福岡縣田川郡上野村赤池 内山あつ子夫人愛兒

女子分娩の喜び

武州飯能町停車場前 横田貞二郎君愛兒

男子出產の感謝

紀伊國田邊湯浅温泉 金谷安一郎君愛兒

男子分娩しました

女のくすりで一番よくきくのは命の母です

ソレハ何故……曰く

第一流の藥學博士下山先生が

命の母は 婦人藥として坊間に存在せる諸藥劑に比して卓絶せる効驗あることを余は證明す

これぞ婦人の最良藥

命の母藥價

命の母		加減命の母	
二日分	廿五錢	五日分	八十錢
七日分	八十錢	十日分	一圓五十錢
二週分	一圓五十錢	卅日分	三圓
五週分	三圓	二ケ月分	五圓

買方 到る處の信用ある大藥房にて頒藥せり、品切れの時は本家へ申込次第送る

御注意 命の母には數種の加減藥命の母があるから本家へ申込時は容體明記あれ

早く試み玉へ

●白帶下なか血に苦しむ人 ●脚腰冷えて頭痛する人 ●子宮病にて下腹の痛む人 ●逆上にて脊肩のこる人 ●ヒステリー血の道の人 ●月經滯り或は不順の人 ●つわり又胸先へ差込む人

●卵巢炎・輸卵管炎の人 ●浮腫痺れ疝氣の人 ●腦神經衰弱の人 ●貧血顏色惡き人 ●頭痛眩暈に苦む人 ●癇高ぶり、心悸亢進の人 ●安產肥立ちを望む人

命の母 子宮專藥 東京 京橋

東京京橋區新榮町四丁目一番地

本家 笹岡省三藥房

振替東京五〇五〇番 電(京)一番

京城日報　第三版
十七日朝刊（夕刊と合せて八頁）

財界時言（十一月十六日）

船成金の時代

○我が日本の海運界は、本年春四月を以て[illegible]點に達し、翌五月[illegible]は反動的[illegible]に陷りしが、再び九月に入りては沸騰の舊狀に復したり。海上運賃のバロメーターとせらるゝ、門司濱間石炭運賃が、日を逐うて昂騰を告ぐるに見ても、如何に海運界の好景氣なるかを知るに足らむ。

○最近に於ける海運界の狀勢は、各方面ともに運賃値上げを一齊に斷行しつゝあり、之に對して荷主の拘束力は殆ど何等の權威なく、只海運業者の言ひなり放題に任すの已むなきもの如し。一例を擧ぐれば米國航路に於ける鐵材運賃の如き、紐育日本間一時は四、五十圓にまで低下したりしものが、アーチャンゼルの結氷期に入ると共に、同地を經て輸送せられたる貨物も、浦鹽を經由する事となりて、我邦への鐵材運賃は二割乃至三割の昂進を來し、又從來日本郵船、大阪商船、及び原田汽船の三社間に協定せられたりし青島航路も僅少の貨物を除く外は、總ての貨物に對して一割內外の運賃引上を實行し、北海道沿岸航路も亦日本郵船に依りて一割方の値上を見るに至れり。

○我が海運界が、最近に至りて、斯くも俄かに活氣を呈し來りし原因は果して如何。思ふに最近我が海運業者の平和克復に對する不安が薄らぎ戰爭に對して寧ろ樂觀的氣分の大に強まり來りし際に、時恰かも米國及び滿洲に於ける穀物及び棉花の出廻期に際して、海運界は世界的に緊張し、又大連の豆粕亦積出期に入り、而も本邦新舊船に對する外人の買付は既に諸威四隻、米國二隻、英國三隻、馬尼剌一隻、計十隻總數四萬六千噸に及び、最近傭船頻々として勝船申込の續出する有樣にして、是れが海運界の好景氣を挑發したることを以て原因とすべし。

○斯の如く我が海運界は、歐洲戰亂の影響を良好の側に受くること著しく、會社と云はず、個人と云はず、所在に船成金を簇出しつゝあり。國家の補助を受けざる、所謂社外船主の如きは、三四年前までは、船主同盟會の年會每に、脚くも果敢なき愚痴のみ繰回し居た、此の頃は愚痴の愚の字も唱へず、納まり返りて懷の溫かさを探り合ふ始末也。

○歐洲戰亂の爲めに儲かりたるものは、單に海運業者のみにはあらざれども、少くも[illegible]金は、今日世の所謂成金中の尤なるもの、一也。彼等が一陽來復の喜びはさる事乍ら、吾人は彼等船成金なるものが、此の戰時利得を以て、一種の偶然利得なりと自覺し、今後好況を永續するや否やを保す能はざる海運界の前途に對し、豫め備ふる所あり、反動の時代に際しても、周章する所なき覺悟を、今よりして固め置かん事を希望に堪へざる也。保護會社が、破れ船を運轉しつゝ、偶然に利得の多きに增長して、株主の歡心を買ふ事をのみ之れ努め、會社の基礎を鞏固にするの途を遲却するが如きは、吾人の最も警めんとする所たり。

淸津管見（一）　西海生

□玄關口には不體裁

▲釣の手のやうな町　此の言葉が目下の淸津市街を形容するに相應はしい。楠野府尹は停車場のある浦項洞や、新開の新岩洞に於ける市街新計畫の豫定を縷々說示した。府尹の語る如く幾年かの後そこらに家屋が建ち並ぶやうになつたら釣の手の一端に大きなふくらみを生ずるやうにならうが、今日の淸津は東海岸に面せる漁港より天馬山麓に至る迄折れ曲つた長い狹い町に過ぎぬ

▲淸津は折れ曲つた狹い長い町だ。如何に淸津が狹いかと云ふに、町並の家の裏に出づると崖と山の思ひがするのでも分る。現に僕の泊つた町並の旅館光淸館の如き、初め女中が長い段梯子を上つて奧の室に案內するから大方二階だらうと思ひ乍ら窓のガラス戶を開けると、それは崖の上に立つた座敷であつた。北朝鮮では唯一を誇る淸津港の現市街に前述の如く擴張發展の餘地なき事は赤見にも分る。將來の市街は是が非でも府尹の熱心說明する停車場所在地浦項洞方面に張り出さねばならぬ。

▲此の意味に於て僕は鐵道當局が、狹い現淸津市街の一端に初め設けやうとした停車場を、水害や其他の關係に教訓を得たからとは云へ、稅關埠頭市街の中心を距る約三十町の浦項洞に擇んだ事を快とする

▲尤も淸津市民の中には停車場の市街と離れ過ぎてゐるのに大分苦狀を云ふ人もあるらしい。然し將來の市勢が前述の如く發展する外なく、今日の市中に停車場用地として理想的の廣場を得られない以上、多少市街と離れた場所に停車場が定められたのは止むを得ないのである。市街の中心と停車場の距離が二三十町位を有する例は朝鮮でも珍らしくない平壤然り、新義州然り、群山然りである。唯貨物は現在のやうでは其の海陸連絡に多くの運搬費——噸に六十錢……を要するから、市中に貨物引込線を望むのは無理もない。當局でもこれには相當の攻究を爲してゐるらしい

▲しかし貨物の輸送は引込線の竣工する迄トロや牛車でやるとし、目下の淸津市街と停車場間の旅客連絡機關をいかに改善するかと云ふ事は、急を要する問題と思はれる。淸津には俥もなければ、馬車もない。俥は二三臺ある事はあるさうだが、之れ迄乘る人も曳き手もないから、一向市中に車影を見はさない

▲十一月五日より鐵道は開通した所で卅町に近い市街と驛との連絡はトロに依るの外はない。トロと云つても文明交通機關の一だから俥や馬車より立派だと云へば云へぬ事もないが、それは平壤の輕鐵の如き普通設備の出來たトロに對して云ふ事で淸津のトロは酷く云ふと乘客を獸扱ひにしてゐる。寒い風が吹いても雨や雪が降つても、トロは蓋もなければ圍ひもなく、腰掛の設備の出來たのさへ少ない。多くは平鈑の上に汚ない蓆を敷いて客をのせる。

▲船から上り、此の獸扱ひにされてトロで停車場に運ばれ、そして廣軌中に立派な列車に搭乘するのは憾に淸津玄關口の不體裁だ、不體裁より僕のやうな淸津初見參の者は危くて仕方がなかつた。トロの線路は始終海岸に沿うてゐるから強い風にあてられて酷く弱る

▲少なくも婦人車を通はせるか、俥を備へつくるか並にトロに全部腰掛けを設け若くば有蓋にするかにして欲しい。鐵道が出來てからまで、蓆敷きのトロを轉ばすのは男子は兎に角として婦人客は閉口せざるを得ないのである。尤も白井署長の如き北[illegible]の連絡改善を急なりとし、相當配意中との事であるから、何れ何等かの形式によつて現はれて來るであらう、僕は其の日の一日も早からん事を希望する

淸津停車場
——淸蒼線第一列車——

大阪だより

▲戰後の製鐵業　歐亂終熄後に至たり猶戰時狀態の活況を持續し得るものは獨り製鐵事業なるべし世界の何れの地點を觀望するも戰時中に失なはれたる鐵材の量は莫大の額に上るべく軍需品として造船用として必要缺くべからざるものにして之れを戰後に至大の影響を及ぼすものは鐵材たらざるべからず銅の如き戰時中の需要は實に素晴らしき勢ひを以て增大しつゝあれど一朝戰局を告ぐる時は戰線より收拾せらるゝ藥莢の量恐らく非常の額に上るべければ戰後銅價の下落は免れ難し從つて銅に亞鉛を混じて製造する眞鍮價格の低落も亦止むを得ざるべし近時我國に於ても製鐵業各所に勃興せるが如きも概して規模小にして生產額の多量を望み難きものゝみなるは心細し獨り官營枝光製鐵所世界の大勢に順應して資本を增大し巨額の製品を生產し得る運びに至る十町四方を畫して大々的規模の下に世界的製鐵事業を開始せし米國に比すれば九牛の一毛にだに及びせず當業者は宜しく戰後を達觀して小製鐵會社の合同を計畫し民間製鐵事業の大成を期せざるべからず

▲紡機製造計畫　本邦各紡績會社の增錘計畫頻出は延いて一昨年來紡機を英國に注文したるも軍需品製造のため輸入杜絕となりたる事は既報周知の事にして何時局にして二三年繼續すべき說をなすものある程なれば到底今後の輸入は當分困難なるべく殊に何時迄も外國品に俟たざるべからざるが如きは本邦紡績界の發展は期し難きを以て各工業界にては殊に腐心しつゝある由なるが今回神戶鈴木商店にては同社經營の神戶製鋼所を開放し紡機の製作を計畫中にて近く開始すべしといへば實現の上は數年後に於ての紡績界の活躍の如き注目に値すべきだと（大阪支局）

返咲炭　五の日十の日會吟

○　浮碧樓
返咲く梁太く明るし
炭船が著くよ別るゝ

○　拔柳
一日遊ぶときめて讀む返花
土提見えぐる炭屋の枯柳

○　鳥堂

○　目池
返り咲く石垣にすり垂れ
炭薪といふことの新世帶
雨に濡れ勝の炭俵く

萬世不朽の典籍

摸範覆刻　當代碩學　校訂頭註
漢文大系
菊判金裝本廿二卷　全部完成　特價提供

文學博士井上哲次郎　東大助教授岡田正之先生　校訂頭註

第廿二卷　楚辭・近思錄　廿二卷悉く道義の基礎文學の淵源

(1) 四書　(2) 古文眞寶・唐詩選・三體詩
(3)(4) 唐宋八家文　(5) 十八史略・小學・孝經・弟子職
(6)(7) 史記列傳　(8) 韓非子　(9) 老子・莊子
(10)(11) 春秋左氏會箋　(12) 詩經・書經
(13) 列子・武經七書　(14) 墨子
(15) 荀子　(16) 易經・傳習錄
(17) 禮記・禮器圖　(18) 文章軌範・古詩賞析
(19) 戰國策　(20) 淮南子・孔子家語
(21) 管子・晏子春秋　(22) 楚辭・近思錄

菊判金裝美本約千頁
特價壹圓八拾錢
（正價貳圓五拾錢）
郵稅內地十六錢臺樺卅五錢鮮支四拾五錢

明治四十一年初卷發刊以來天下に類例なき模範的大覆刻をして全本の名を宇內に檀にしたる漢文大系は前後九星霜を閱し廿二卷壹萬九千五百餘頁を以て全部完成を告げ有終の美をなせり收容する所の漢籍四十四種七百廿餘卷、本邦唯一の文園たり若夫れ收容書の選擇の適當注釋補釋の詳密、本文の深切校訂の嚴密印刷の鮮明裝幀の堅牢美麗に至つては世既に定評あり。茲に全部完成を機とし短期特價を提供するは書齋の權威家庭の主品として速に御申込あらんことを

十一月廿日迄　特價各卷壹円八拾錢

▼月賦（分納）便法　廿二卷全部取揃購入の分は高尙なる組立書棚相添全部廿二卷、期限內に御申込あれば爾後每月壹圓八拾錢宛御拂込其都度壹卷宛送本の特典あり。送料其他詳細見本

内容見本進呈　往復葉書にて申込次第

發行所　東京神田　富山房　振替五〇一

新刊書御案内

書名	著者	定價
工業數學	深井宗吉	三、〇〇
法理詳說判例參照 債權者の法律顧問	森健堂	特一、八〇
官用引例 行政法大綱	全野村信孝	一、二〇
木の紅葉、日本の社會	小林照朗	一、五〇
禪宗聖典・續編	神保如天 並	一、二〇
國文解釋法	塚本哲之	七五
強者の天地	仲小路廉	一、〇〇
大阪每日東京日々新聞連載小說 姊と妹	井田絃聲	一、二〇
大戰に現はれたる雄辯	室伏高信譯	四五
少尉になるまで	中島武	五五
平凡道德	棟居喜久馬	二五
情話叢書第二 淺原	米子	四五
花枕	正岡子規	三五
給入訓話	大町桂月	五〇
五十日間卒業 珠算自由自在	石井研堂	四〇
改正古錢價格表	家村吉兵衛	一三
朝鮮總督府巡查受驗提要	永野淸	特四五
最新朝鮮地質鑛產圖	鑛業研究會	八〇
ペン數字練習帖	大阪屋號編	一〇

大阪屋號書店　京城本町壹丁目八六　振替京城二一〇八　電話一三

購買　龍山陸軍倉庫
玄米、精米、大麥
詳細ハ十一月十七日以降朝鮮官報ニアリ

時計貴金屬指輪商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目　京城銀行前
三浦天龍堂
電話一〇〇二番　振替京城三〇四番

日韓書房　新版報告
岡本米藏著　牛　定價一圓　送料十二錢
矢野恒太訓　訂正廿版　ポケット論語　定價五十錢　送料六錢
長岡春一著　大戰外交史　定價二圓半　送料十六錢
大谷光瑞著　放浪漫記　定價三圓　送料十六錢
奥野他見男著　諷刺諧謔　先生樣と生徒　定價四十錢　送料六錢
京城本町二丁目　電話一四〇五　振替口座一一五

タイヨー萬年毛筆
曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
京城日報社代理部　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四〇番
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏
內科　小兒科　入院隨意
無料施療す　每日五名を限り

安心の出來る丁子屋の既成品

寒さ來れり

確實を以て名ある弊店既成部は原料の撰底と昂騰せる不拘不相變豐富なる製品を廉價に提供し得るは弊部の誇とする所に有之候

而も弊店の裁縫に於ては職工が夏期の最も閑散期を利用仕候事とて坊間の出來合品とは大に其趣を異にせる弊部の更に更に大なる誇と致す所に有之候

地方御注文に就て

既成品の種類と値段

●長トンビ
地質（霜降メルトン　裏甲斐絹又はアルパカ）（縞スコッチ）
甲廿五圓。乙廿二圓。丙十九圓
頭巾付き極上仕立寸法　三尺より三尺五寸迄

●オーバーコウト（洋服用周衣用二種）
地質（霜降メルトン　裏朱子或はアルパカ）（縞スコッチ）（黑メルトン）
甲二十圓。乙十五圓。丙十二圓

●婦人コウト
地質（セル）（カルデ）二種（肩裏付き）
甲十六圓。乙十三圓。丙十圓

●將校マント
和服にも洋服にも周衣にも向く
地質（黑ラシャ）（縞メルトン）（裏アルパカ、朱子總裏付き、衿ベッチン付き）
甲廿三圓。乙十七圓。丙十二圓

●小兒マント
男兒用（黑ラシャ製）（裏は縞朱子或は赤ネル）
寸法（一尺八寸、二尺、二尺二寸、二尺四寸、二尺六寸、二尺八寸の八種）
價格　四圓五十錢（一尺八寸）より凡そ一寸廿五錢上りに有之候
女兒用（鼠、紫、蝦茶、青等の色ラシャ製）美麗なる刺繡入
寸法各種
價格　三圓五十錢以上十二圓迄各種

右は別に見本切無之候間御注文の節は御年齡、寸法、御好み等御申越被下候はゞ弊部にて充分審議仕候御見計ひ御送附可申上尤も御氣に叶不申候節は何時にても御取替可申候

京城南大門通　丁子屋洋服店既成部
電話二三・六九〇・二二〇番　振替口座京城二八八番

廣告

平均	一節	十一圓七十四錢
	二節	十一圓七十一錢
	三節	十一圓七十二錢
前場	四節	十一圓七十一錢

仁川取米

▲保合小鈍し　大阪と新村九錢と離れたる[illegible]大阪防安を移して受けて十二圓七十[illegible]石に上りたりとの事
▲㊐能く賣る　後場同店より賣りたる玉數三千俵石あり[illegible]石の賣ありたりとの事
▲現物　非艱新米十二圓三十錢[illegible]　十二圓八十錢より廿三圓五十錢[illegible]

（三）は忠北堤川郡面長在職中大正四年十一月二十九日納稅滯納者督促の爲め同郡錦繡面[illegible]組みつき容易に離さず依つて相者は再度同人の頭部を強打して治療二箇月を要する創傷を負はせ[illegible]

□聖上陛下御答電

日米間無線電信開通祝電に對し

十六日より日米間無線電信開通せしに付き米國大統領ウイルソン氏は我が聖上陛下に對し祝電を發送せられたることは既電の如くなるが右祝電は十五日午後九時我が皇室に到着したるを以て直に大本營に向け傳奏の手續を爲したるが　天皇陛下には右祝電に對し左の御答電を御發送遊ばされたり（東京特電）

日本米國間ノ無線電信今ヤ全ク成リ之ガ第一信トシテ懇篤ナル貴電ニ接シタルハ朕ノ欣幸トスル所ナリ茲ニ朕及朕ノ臣民ニ表示セラレタル好意ヲ謝シ且ツ合衆國ノ繁榮福祉ヲ衷心ヨリ切望スルノ意ヲ表ス

○海軍編制變更

十二月一日を以て海軍艦隊編制替を斷行す可く其結果左の如き編制となる可し（東京電報）

▲第一艦隊　扶桑、安藝、香取、鹿島、結城、筑波
▲第二艦隊　比叡、金剛、霧島、矢矧、筑摩、利根
▲第三艦隊　三笠、敷島、肥前、石見、朝日

□音樂學校行啓

皇后陛下には十六日千種典侍御陪乘大森大夫以下の供奉員を隨へさせられ正午宮城御出門御順路上野公園東京音樂學校に行啓あらせられたり同校には岡田文相田所次官蜂須賀侯、菊地男、牧野、一木、柴田高田の各前文相山川帝大總長其他職員生徒等の奉迎を受けさせられ湯原校長の御先行にて便殿に入御前記諸官に謁を賜ひ湯原校長より當日の演奏曲目を奉呈し御少憩後音樂堂に進御吉丸、島崎兩教授の合奏せし御大禮奉祝歌大塚教授の御大禮奉祝進行曲其他數曲を聽し召され一旦便殿に入御御少憩後再び音樂堂に臨御第二部演奏小倉末子のピアノ田中久子のヴァイオリン等を聽し召され終つて湯原校長其他の職員に御菓子料を賜ひ午後四時御機嫌麗はしく還啓遊ばされたり（東京特電）

○郵船配當二割

日本郵船會社今期配當額は嚢に二割八分と決定せるも株主側の主張を容れ二割となす事に決せり（東京電報）

吉原三郎氏（十五日卒去せし）

○林公使奉天著

林公使は十六日夜奉天著歸朝の途にある本野大使と會見し次で張督軍と親しく會談を遂げ十七日夜出發十八日朝大連に出で汽船にて芝罘に赴き歸任の筈なり（大連特電）

○本野子奉天發著

本野大使は十七日午前一時二十分奉天著同五十五分安東に向ふべし（奉天特電）

○辭令

十六日附左記三中將に對し大將陞任の辭令ありたり（東京特電）

陸軍中將從三位勳一等功二級　井口省吾
同　大谷喜久藏
同　秋山好古

○吉原氏卒去

任陸軍大將（各通）

前東洋拓殖會社總裁吉原三郎氏は東京著後病氣遂に革まり十五日夜麹町區一番町十五番地の自邸に於て終に永眠せり（東京特電）

從四位勳二等吉原三郎氏は千葉縣平民吉原十郎氏の三男にして安政元年三月八日を以て生る明治九年司法省法學生徒となり同十八年判事補に任ぜられ同二十一年法科大學に入り同二十二年卒業法學士の稱號を得同二十三年衆議院書記官に任じ爾來埼玉大阪愛知各府縣書記官香川富山各縣知事内務省地方局長等を經て同三十九年一月内務次官に累進其間政府委員として議會に臨む事數回同四十一年十二月東洋拓殖株式會社創立に際し入りて副總裁となり後宇佐川一正氏の後を襲うて總裁に陞進爾來多年の宿痾再發して今回職を辭し歸東後間もなく卒去す享年六十有三

○德富氏著京

貴族院議員德富猪一郎氏は十五日午後八時東京驛著列車にて歸京せり（東京特電）

○官鹽採取總高

豫定より四百六十萬斤減

朝鮮官營鹽田は十一月九日を以て採鹽作業を終了せり、操業開始以來終了期までに至る本年の採鹽高は朱安に在りては天候不順なりし結果漸く二百九十三萬八千六百九十三斤に止まり之を前年に比すれば二百六十餘萬斤の減少となり又た豫定の收量額に對比せば僅々三割五分に過ぎざることゝなりしが廣梁灣に在りては天候適順なりし爲め六千八百四十萬三千八斤の採鹽を見之れを前年の採鹽高に比すれば二千二百二十五萬斤を増加せるのみならず豫定の收量に對し六十八萬斤を増收せり、然れども前述の如く朱安の採鹽不良に了りしを以て兩者の採鹽高は合計七千百三十四萬一千七百一斤となり、之れを豫定總收量額七千六百萬斤に比すれば四百六十六萬斤の不足を來せり

○水産界新現象

明太漁事業の本場たる咸南新浦にては例年舊暦十月十五日以降より漁期に入り其の漁具は從來手繰及び刺網の二種に限られ居たるが本年は江原道並に新浦附近の釣船集來し延繩釣を試みたる結果新暦十月二十五日より續々漁獲あり十一月九日までに於て約五百五十駄百十萬尾を獲引き續き豐漁の模樣なりと之れ明太漁事の一新現象といふべく又た本月十三日元山に入港せる昌平丸は千五百叺の鯟を搭載せり進は城津及び雄基附近に於て漁獲せしものゝ由なるが同地方にては從來鯟の漁事殆ど皆無なりしに既に此の漁獲を見而かも尚ほ續々漁獲あるに徴するに本年は潮流其の他海況に變態を來せしものなる可く現に角水産上囑目す可き現象といふ可し

○山東出稼苦力

南北滿洲及び浦鹽朝鮮方面に向つて出稼する山東省の苦力は其數實に二十數萬に上り同省經濟界に於ける一大勢力を有し居れるが本年も既に年末に近づき各方面より歸國する者多ければ山東省に於ける經濟界は之れが爲めに非常の活況を呈するならん

▲仁川經由の苦力　苦力の本場は山東省の東端登州府及び萊州府青州府沂州府等にて稀には濟南府の者もあれど登州府には山東省に於ける二大港の一なる芝罘港を有する關係上出稼人非常に多く朝鮮在住支那人の大半は殆んど同地苦力に依つて占められつゝ有るの狀態にて自然芝罘港と密接の關係を有する仁川港を經由して鮮内各地及浦鹽方面に出稼ぎする苦力夥しき數に達し本年の如きは二千八百名以上を算したり而して此れが輸送には專ら阿波共同汽船會社第十六共同丸の毎週一回と朝郵會社江原丸の月三回との定期航路の外浦鹽直行には四隻の露國義勇艦隊大連田中商店の龍裕號及び政記公司の明利號其他一二の外國臨時船等あり

▲勞働者の貯金高　仁川港を經て上陸する苦力の大部分は元山を經て浦鹽方面に出稼ぎする者なるが彼等は重に芝罘華僑交通公司の手に依つて毎年春四月頃より七月に亙つて渡航し一箇年乃至二箇年間勞働の上十、十一、十二月頃盛んに歸國する者にして貯金高は本月に入りてより仁川驛を通過したる者を檢するに一昨年春よりの出稼ぎにて百圓内外を蓄へとし本春渡航の苦力は歸國する者寥々たるも貯蓄高は概ね四十圓を下らざる由（仁川）

○隱元豆の暴騰

石四十圓に及ぶ、佛國へ輸出するも用途不明

咸鏡北道の一爲産物たる小手亡隱元豆は從來年々少量宛神戸に移出され本年も去る八月頃迄は石十三圓所にて取引され居りし所十月に入り神戸より清津羅南方面に對し注文頻到相場亦漸く高く石二十五圓を現はすに至れるより各地商人は其の奥地に於ける買出しに熱中しつゝありしが十一月上旬より神戸筋の注文は益々頻繁となり九日は清津にて上品石三十八圓てう未曾有の高値を現出し實に米の三倍に及び最近神戸積出し量三千石約十萬圓を下らざるべしとの見當なり而して該品は全部神戸より佛國に積出さるゝも其の用途不明にて或は爆發用火藥に用ゆと云ひ白粉原料なりと云ひ毒瓦斯の製造用に供することも稱せられ若くば食料品にてベーキビーンス並にポーリエンドに使用すとも唱へ確かなる所不明なり從つて其の相場の前途見越し附かざるものゝ如く北道廳倉宗庶務兩鮮銀にては切りに其の調査に努めつゝあり尚ほ咸北の産地は梨津富寧鏡城各郡最も多く間島にも少なからず産せらる由因に一説によれば輸出隱元豆は多く北海道産を用ゆるを常とするも本年同道不作にて先約等の關係上咸北豆の暴騰を見たるものに外ならず毎年斯の如からんと即斷し其の大栽培をなすも結局失敗に終るべしと云ふも其の用途の如何により且つ朝鮮にては咸北以外産せざる模樣等により觀れば前途必ずしも悲觀するに及ばざるべし咸北鮮人は最近天井知らずに昂騰する相場に驚喜しつゝ明年栽培の擴大を企圖しつゝありと（清津にて特派員）

○仁川檢米効果

既往一箇年の成績を見る

大正四年十一月十日米穀檢査令發布してより本月九日迄にて既に一箇年を閲したり今該令施行以來の成績を見るに内地に於ける鮮米の聲價昂上したるが如き生産者の乾燥調製に對する智識啓發の如き米穀貿易業者間商業道德の向上を見たるが如き僅々一箇年に過ぎざる短期間に於て擧げ得たる効果は甚だ大なる者ありしが之れを仁川米穀檢査所に於ける過去一箇年間の輸移出玄米檢査成績に徴するに其當初に於ける成績は檢査總數に對する合格率九十七パーセントなりしも日を累ぬるに從て成績昂上し本年四五六の三箇月の如きは合格步合實に百パーセントに上りたり之れ輸移出業者の自覺確固となりたる結果地方生産者に向つて乾燥調製の改良を促し自己も又之れが實行を計りて鮮米の聲價を向上せしむるに努めたるに依る者なりしが七八九月に至りて時恰も多雨期に入りたる爲め變質米を生じ百パーセントの好成績を持續する能はずして七月は九十八パーセント八月は九十六パーセント九月は九十九パーセントに下れり然し乍ら此れを他道檢査所に於ける成績に比較するに仁川米穀檢査所に於ける莢雜物の範圍廣く檢査の標準極めて嚴格なる者あれば步合率に於て多少劣ると雖も實質に於ては成績良好なる可きを自信を有すとは常に當業者の口にする處なれば今後全然米穀檢査標準統一の曉には少くも其二位以下に降る事萬あらざる可し因に過去一箇年間に於ける各月檢査成績左の如し（仁川支局）

	檢査總數	合格	不合格	合計步合
四年十一月	二一、四一二	二〇、八〇四	六〇八	九七
十二月	五三、二五五	四九、八五三	三、四〇二	九三
五年一月	二九、八九六	二八、八八九	一、〇〇七	九七
二月	一四、七九二	一四、七八二	一〇	一〇〇
三月	三三、三二二	三三、二四二	八〇	九九
四月	八、一五五	八、一四四	一一	一〇〇
五月	四、四〇三	四、四〇三	―	一〇〇
六月	七、一三四	七、一三四	―	一〇〇
七月	三一、三二七	三〇、三九六	九三一	九八
八月	一七、八〇二	一七、一六二	六四〇	九六
九月	六、四四六	六、四〇〇	四六	九九
合計	二三七、一七〇	二三〇、八七〇	六、三〇〇	九七

○支那絹布輸入激減

上海其他支那各地より輸入さるゝ緞子其他の絹布は期日の確實なると輸出税を徴收せられざる關係上小包郵便にて長崎經由毎週二回宛仁川港に入荷し養生盛、惟泰棧其他支那貿易商の手に依つて鮮内各地に仕向けらるゝ者なるが其の輸入高は實に大正四年に於て二十三萬二千圓以上に達し支那貿易品中の重要なる位置を占めつゝ有りたり然るに本年に入りてより經濟界の不振に伴ふ需要激減の矢先支那に於ける墨國銀は昨年十月中に於ては日本貨八十二錢五厘弱に換算されたる者本年は一圓六錢四厘に騰貴したるを以て九月以降絹布の輸入殆んど杜絕の姿にて昨今郵便局に於ける取扱小包は單に補充的の取引に過ぎざる由（仁川）

○仁川奥筋好況

仁川地方に於ける奥筋の商況を聞くに米價の氣勢極めて強く且つ買出しの爲め出張せる米穀商は多少競爭氣味となれる爲め地方民は非常の活況を呈し景氣は一般を通じて輓回しつゝ有り現に鮮人向雜貨類の需要は頓に増進し市内布木商及び鮮人向貿易商の如きは喜色溢るゝが如し是れ需要期に入れる關係上好況に向ひつゝあるは勿論なるが米穀の出廻り活潑にして鮮人經濟界の大勢順調に向ひ一般に前途を樂觀しつゝ有るに基因すべし（仁川）

○市街整理委員會

京城市街施設物整理委員會は十五日午後二時本府會議室に開催し專ら電車線路に關し協議し一黄金町通道路修築の件即ち本線路面は降雨の爲め泥濘となり晴天には砂塵を飛散し通行及び衛生上有害にして之を修理に附すべきは等閑視すべきにあらず委員會前會協議の主趣に基き設計を調査したるに南大門通より病院通り電車交叉點附近約七百五十間車路幅九間を「コールタール」碎石道路に改修し右附近以外砂利使用經費約一萬六千餘圓を要する見込の件二、市内道路撤水に關する件即ち步車道の區別ある道路及び沿道居住者なき道路の撤水は府に於て施行しつゝあるも十月十日限りを以て中止せり右は豫算の關係に依ると察せらるゝも尚衛生の點より見れば繼續の必要あり等の件に就き協議する所ありたり

○石塚總裁東上

東拓總裁石塚英藏氏は臨時株主總會列席の爲め十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上すべし

○川上常郎氏

東拓理事に内定せる前安北道長官川上常郎氏は十七日午前八時南大門驛着入京す可く或は直に石塚總裁と共に南下車中にて諸般事務打合を行ひ釜山より引返し入京する事となるやも知れずと

○大原秘書役歸京

朝鮮銀行大原秘書役は久しく東上中の所十四日朝歸京せり

露領行記

貝加爾湖畔へ（第二十信）

琴花

○智多以南は地勢頓に一變して丘陵岡阜或は抑し或は揚し、終に低ければ山と名くべき形を成すに至る、盖し滿洲里以東に蟠踞する興安嶺の餘脈に接してスタノヴォイ、ヤブノロイ山等の南北の走向を取りて蜿蜒するものゝ北脚部なるべし、殊に樹木蔭生して森林帶の一端に觸るゝを貫しと爲す、赤松あり、樺あり、白楊樹あり、落葉松あり、密生のため往々立ち枯を生じ、松の如き臨々として我が吉野杉に髣髴す。

○驛長に問へば沿線五里が程は輸伐して各驛に搬出せらるゝも之より遠きは運搬の便を缺げると製材機關なきため朽腐に委すと云ふ、實に然もあるべし、西比利亞の森は是より北に亙りて擴大し其面積我が二億四千萬町步に達し、松、柏、檞、樅等の良材繁茂し、帝室財産に屬する此天産物の他日海外に輸出せらるゝ道も開けなば其富は無限なるべきか、午前十時四十分ヤブルノースカの隧道を過ぎ地の漸く高きを知る。

○驟する久しうして森愈々長く、時に一里が程も徒らに伐り倒されて半ば朽ちたるあり、野火の爲めに根幹を燒かれて枯れたるの數里に打續くあり、驛舍は材木を疊みて家と爲し漠たる構内の置場は薪木、製材を豆腐の如く剗積して他の一物資を雜ゆることある莫し、林間池あり、沙漠あり、沼澤あり、鳥の羽音喇る聲も聞ゆ、驛と驛との間近きも十二三露里、驛とは云へど人家の集團あるにあらず眞に驛員の舍宅數軒の列ぶのみ、住めば都と言ひ乍ら道がに馴れし驛員の家族等も人懷かしくやわらむ若き婦人の乳呑子抱へて列車戀しげに柵外に佇むもあり、無邪氣なるいたづら小僧が野羊を侶として雪にめげぬも憐れ深し。

○林を縫ひ杜を越ひ山の麓を廻り丘を上りて列車の往くこと甚だ遲々、聽て眼界大に展け遠近の山巒帽銀服して悉く我が脚下に朝す、無佛大居士なりせば是非共一詩なかるべからざるところ、惆むべし我に大塊老匠の詞藻なきことを、峠の頂に暫し佇める車はまた小ばしりに麓指す、林深うして松の半ばより折れ樺の根越しに扱かれて累々たる遝り、暮色漸く幽晦として何處ともなく狸の聲すなり。

○二十六日午前五時過ぎムイソーワヤ驛に達して貝加爾湖畔に出づれば萬象猶ほ大自然の床に安眠す、奇なる哉奇なる哉宵にちらりと見るばかりのものと思ひし弦月淡く東雲未だ明けやらぬ東の山の端に利鎌して曉の明星光を朧ろに觀む湖心に燦ず神韻邈として自から襟を正うせしむ（二十六日）

人事消息

▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長）　十六日夜入京浦尾へ
▲堀池常作氏（大邱辯護士）　十六日夜退京
▲北村辨四郎氏　▲小平修三郎氏（三井物産社員）　同上

天郎

▲醫館市場近況　平安北道當にて玄米は保合大豆は九圓臺を[illegible]に於ける殷賑商戰地として[illegible]ねたる後の事とて稍々弱氣配を示し[illegible]内司法會議を十一月十六日より三日間同法院にて開催す▲龜尾郵便所[illegible]過●平安北道内に於ける春秋蠶期稚蠶共同飼育經過を聞くに春蠶共同[illegible]量八百六十二石七斗九升なり而して一石一斗九升收繭賈[illegible]量百五十九[illegible]七百四圓九十六錢にして輸入總額五[illegible]萬八千九百八十五圓四十三錢[illegible]百五十二圓其他雜貨金九[illegible]三千五百七十八圓合計十三萬三千八百十三圓[illegible]

謹告

今般當社營業方針上拙者儀當地引上け本社へ歸還仕り兼務可致事に相成候に就ては永年の御厚意を謝し併て向後共一層御眷顧の程只管願上度此段御挨拶申上候　敬具
追て出發に際し訣別の御盛宴を御開催に預り難有深く感鳴の外無之乍略儀茲に紙上を以て謝辭可申述候

合名會社仁川支店
代表者　宅甚之助

各位御中

藥劑師會員募集講師
東京藥學講義錄
藥劑師志望にて通學の餘暇なき者は速に入會せよ本會は充分其目的を遂せしむ
此際大特典
講師　飯盛ドクトル有賀藥學士諸谷藥學士望月藥學士野口文學士村山藥學士六河藥學士小島藥學士稻田藥學士國森大島醫學士
提供　見本送料郵券二錢　會則
東京神田表猿樂町廿五
東京藥學會

寶田石油株式會社代理店
帝國麥酒株式會社代理店
大日本鹽業株式會社代理店
再製鹽製造販賣

辰　合名會社鈴木商店京城出張所
京城本町三丁目
電話長二二九〇番、長二九二四番

辰　釜山出張所
釜山本町二丁目
電話長七六二番

辰　仁川出張所
仁川本町二丁目
電話長八三番、八五六番

原鹽直輸入販賣
阿里山檜材朝鮮一手販賣
雜穀賣買

各種萬年筆即時修繕◎
新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈
京城旭町二丁目六番地
東京パイン萬年筆出張所

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社漢城銀行
長　男爵　李允用
專務取締役　韓相龍
電話長二一三九番六四六番
振替京城二一〇五一八六二番
支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、東幕

內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七・一三九〇・二九番

[illegible]近の氣[illegible]力並米十品は[illegible]二圓十錢在來種十一圓八十錢大麥四十圓小麥七圓大豆八圓六十錢見[illegible]六十九叺小麥五百二十二叺なり▲司法官會議 大邱覆審法院にては同院[illegible]行せり

●義州雜信 ▲平北稚蠶飼育經[illegible]掃立蠶數四貫五百七十七匁收繭量一千七十七石三升にして收繭實數[illegible]經費補助金一千四十七圓九錢掃立蠶量一貫三百四十七匁收繭數二百四十一[illegible]七月より九月に至る三箇月間鴨綠江沿岸國境に於ける輸出總額は四萬一千[illegible]三萬八百九十圓十九錢稅額に於て二百三十二圓二十四錢の增加を[illegible]客月各種事業放貸額は農業七千四百八十三圓工業五千圓商業二萬七千七[illegible]

□仰げ、錦旗「初風」に
聖上關門海峽御通過
海に陸に皇禮砲勇ましくぞ轟きつ

十六日午前八時四十五分博多驛御發還幸の途に就かせられたる 大元帥陛下には同十一時十分門司驛に御着遊ばされたり之れより先き門司市にては驛前に奉迎綠門、奉送大額を建て港内に碇泊せる各汽船は滿船飾を施し關門兩市民は海岸一帶に堵列して陛下の御著を奉迎申上げたり此の日前日の强風全く凪ぎ秋空一碧日本晴の好天氣となり心神共に爽快なり 大元帥陛下には長尾九州鐵道管理局長の御先導にて門司驛樓上貴賓室に入御御少憩後十一時三十五分棧道棧橋東方に繫留せる御召艇初風に御乘艇遊ばさるゝと共に檣頭高く天皇旗掲げられ茭西富士艦長御先導九津見吳港務部長後衛して檜、松、杉、楢の四驅逐艦並に多數の汽艇に依り警戒せられたる裡を徐々御航進下關へ御著同所にて吳鎭守府司令官其他の奉迎を受けさせ給ひ直に御召列車に御乘車正午御發三田尻に向はせられたり 大元帥陛下海峽御通過の際は港内碇泊の富士艦皇禮砲を發し關門兩市又盛に煙火を打揚たり港内碇泊の各汽船の滿船飾關門兩市民の海岸に堵列せる等未曾有の盛況を呈したり(門司特電)

●雪の茂山嶺越に
名殘のトロを馳せて會寧へ

「茂山嶺のトロは下り阪に氣を附け給へ、先日も元山の田中とか云ふ呉服屋はウツカリしてゐて踣く

▽兩足を 折つたさうだぜ」と此頃會寧に往復した佐藤鐵道局技師は清津でかう記者に注意した、其他ヤレ支那人の驢車押しは危險だとか、朝鮮人の乘客が五六日前峠の附近で殺されたとか、本試清津會寧間輕鐵の鐵道として名高い茂山嶺――今日では蒼坪會寧間トロの險阪となつた茂山嶺に關する風說は何れも

▽血汐を 聯想さす樣なものばかりである、聯さか薄氣味は惡かつたが、清津まで來た記者は、會寧視察の爲め件の茂山嶺を越へて鏡城方面に出づる事とした、折好く鐵道試乘の爲め來清せる裵智の今井會寧鮮銀支店長と同行、八日午前八時清津發の一番列車で蒼坪に向ひ、そこからトロに同乘失走る事とした、前日來の雨は名殘りなく晴れたが、三際に入れる北鮮の此頃の

▽寒さは 尋常でない、それに凄まじい北風が引切りなしに吹いて、顔向けならぬ程險しい酷い天氣である、新線路の列車はゴトゴト徐行して十時近く蒼坪停車場に近附いた、ブト車窓から谷間の漸く迫つた線路左右の連山を仰ぐと、山々の頂だきから麓まで眞白な雪に埋もれてゐる、遙な茂山等は一層雪も深いらしい『山は雪、蒼は雨だれ』と今井氏は云つた、成程七日の朝から清津地方は可成り

▣強い雨を見たが雪は一片も降らなかつたのである、清津より汽車の行程約二時間、茂山嶺附近迄上つて來て、そこらの山々が白雪に掩はれてゐるのは、さうした感じを直ぐ吾々に起させると共に、記者等の此度の旅に『雪の茂山嶺越へ』なる

▣詩的な名稱を つけて呉れたのであつた、しかし十時蒼坪に下車して烈しい茂山嶺嵐しの洗禮を受けると『雪の茂山嶺』と云へば響きもよいが、此の寒さには身が縮む』今井氏は人一倍大い身體の首をすくめ乍ら云ふ、吾々は驛前の旅館で腹を作りつゝ臺車の特別仕立を命じた、正午近く今井氏と記者は腰掛附きのトロに並んで蒼坪より直路茂山越へに懸つた

▣長大な棒を手 にせるヨボの風强な操縱者が二人とそれから一人の後押し都合三人は曳々聲を合はしつゝ屈曲せる線路にトロを押し上げた、空は晴れてゐたが初冬の日の光りは弱かつた、烈風が虚空に鳴つてゐる、蒼坪邑を出離れると與上に清會鐵道未成線の大溪橋を仰ぐ鐵道は此處で臺車線路の上を横切り、直ちに向つて右方の山の腹を廻り、茂山嶺の頂だきを避けつゝ大迂迴して會寧方面に出るから、其後は

▣山を越すまで 見る事は出來ない、何でも鐵道は一茂山嶺を通すのに三百萬圓も投ずるさうだ……雪に美化された茂山嶺は剣々吾々を其の山懷ろに入れて呉れる、岩角や橋に大きな氷柱が深山下つてゐるトロの線路は滿倉一等國道に殆んど沿ひ、行きては返り〳〵嶮しい坂を成るべく斜坂に上つてゐる、三人のトロ押しは可なり苦しいらしく四五町も行くとすぐ息を入れる

▣豪車が動いて ゐると、いくらか凌ぎよい寒さも靜止すれば嚴寒の冷氣忽ち蒔々と身を包む、流石に山間だけ風は少ないけれども、少い風も積つた雪を吹き飛ばすから其の寒さは甚しい、左右の小さい雜木がザワ〳〵と鳴る『これで今日は寒むいから、ヨボの休みやうが少ないんだ、少し暖かい日は一町越し位に煙草を喫む』今井氏はかう云つて『ヨボ、パリ〳〵』とトロ押しに命じた『此邊では京城や南鮮方面のやうにオソ〳〵だのオツトコだの云ふ

▣言葉は通ぜぬ 皆パリ〳〵(急げの意)だ鮮語に就て面白い話しがある、先年寺内前總督が北鮮に見ねて此の茂山嶺を會寧へトロで越された時、臺車の上は唯一人だつたから トロ押しヨボへの

▽命令も 自然直接にする外はなかつた、で總督は度々催ずか何かして臺車を留むる爲め『カマイソ』と云ふのをどう思ひ誤まられたか『ナベイソ』に間違へて終ひ切りに『ナベイソ』を連發されたさうだが、ヨボには何の事やら一向通ぜぬ、從つて臺車も止まらず、怕々ヨボも言語不通で少なからず狼狽されたらしい』話し好きの今井氏はこんな事を語り乍ら大聲に笑ふ、鐵路は一度上つて又下るので

▽大屈曲 してゐる『曲りが危い、下りトロが急に走つて來て突房の間に衝突顚覆する事がある』かう吾々は云ひ合ひ乍ら警戒した そんな所では吾々よりヨボは一層下り臺車の來はせぬかと云ふ警さ、吾々の臺車の徐行に氣を配つてゐるらしかつた(會寧にて 西海生)

茂山嶺の隧道工事

●命懸けで 砂糖買ひ
浦鹽の此頃=初雪七日に降る

浦鹽にては去る七日始めて降雪あり岸邊に薄氷を見たるが氣候は例年に比し頗る温暖なり港内の結氷は來月下旬たるべく陸上は稅關波止其他孰れも依然軍需品堆積し殆んど身動きも出來ざる程雜積し同船に乘るべき船客の如きは約一町餘の處より小舟にて乘船しつゝあり市内は何等異狀を認めざるも去月中旬以來、砂糖の品切れを來たし爲めに政府は一定時を限りて賣渡す事となり人民は頗る迷惑したるがアルベス商會前に於ては之を買入るべく集れる群集中死傷者を生じたる程なり物價は引續き昂騰し最近米一斗五圓五十錢、麻莫一足一圓八十錢を唱へ肉類麥粉等亦貯藏品減少し肉は毎週土、日、月の三日の外一切買賣を禁じ居れり而して露國にては旅券は年々之を書換ふることなく滿期券を有せる支那勞働者多數來集せるも何故にや官憲は再下付を禁じたるため彼等は非常に困窮し居れり(浦鹽特派員)

●籾殼が朝鮮人間の燃料に
廢物利用=需要が大層殖えた

仁川居住の朝鮮人間には一二年前から籾殼を燃料にする事が大流行となつて居るが此れが爲め他の燃料の相場が狂つて昨年の如きは一把七八錢の松葉や枯草が三錢以下に暴落したのに反して籾殼の價は非常に騰貴して今日では非常なものであるが元來需要の少い者故乘塲にも困る程で

▲四五年前迄は 大俵一個二三錢に過ぎなかつた、然るに一二年前東拓理事林市藏氏が來仁の砌籾殼を冬期間に於ける燃料に用ふる事を講演會か何かで奬勵した結果意外の反響があつて昨年の如き鮮人は爭つて籾殼を買ひ求め各家に小さい竈を備へつけて温突を温める傍ら炊事をすると言ふ有樣で一時籾摺業者をして籾殼の需要の激增に不審を抱かしめた程であつた元來朝鮮は嚴冬中は

▲一切の生活費 と燃料費とが相半ばすると言はるゝ程で低級な生活狀態に在つては到底其の負擔に苦しまざるを得ない然るに籾殼を使用するに至つてからは從來一週間に松葉四五十錢を要した者が一俵の籾殼に依つて綽々たる餘裕があるから殆んど三分の一の費用を要せない理で經濟上非常に利益で本年の需要況

▲薬場に困つた 籾殼は一躍廿二三錢に騰貴して冬期間に於ける鮮人の經濟上にも廢物利用の上にも大なる福音を與ふるに至つた、新穀の走り初むる十月から仁川に廻著する米は莫大の數に達するが近年籾摺業の勃興と共に籾摺高も又數十萬石を下らない然して之れから生ずる籾は一部七流鮮人間には不快の臭氣があると言て用ひられなくなつたが一般鮮人間に在つては需要益々增加し夥しく其數十萬俵を下るまいとの事である(仁川)

●入獄中の夫を訴ふ

京城若草町松浦某方同居滋賀縣犬上郡東甲良村片岡よしの(三)は其夫にして目下永登浦監獄に入獄服役中の片岡平八(三四)を相手取り離婚請求の訴訟を京城地方法院に提起せり其の請求要旨に依れば兩人は大正二年三月中結婚して爾來同棲したるも平八は常に怠惰にして業を勵まず遂に生活困難となりて大正四年九月三十日合意の上離別してよしのは若草町の實姉宅に平八は鍾路四丁目の友人上田某方に各別居して厄介となり居れる内平八は窃盜罪に依り本年五月十六日京城地方法院にて懲役六箇月の判決を受け目下服役中なるが別居はなしたるも尙離籍の手續きをなし居らず斯くては一家親族を傷くるより右の訴訟に及びたるものなりと

●大阪の新遊廓
來春より建築

大阪の廓、會其の他が風紀を楯に取つて飛田遊廓に對する反對運動、今猶繼續しつゝある一方飛田の新遊廓地は阪南土地會社の手に著々として工事が進捗して居る其の土工は去月二十七日から手を著けたので

▲是が全部 を終るには約四箇月を要し來年二月竣工の豫定だと云ふが其の工事の設計を聞くに先づ四間幅十文字の中央大道路を作り是を中心として北へ三道路南へ二道路東西各一道路を設け整然たる街衢を形作る目論見になつて居る而して周圍には高さ約二間の最新式鐵網泥凝土の塀壁を繞らし外部の

▲普通町家と 區劃して了ひ更に塀壁の周圍には暗渠を設ける豫定であるが此一廓へ通ずるには西及び北の一箇所に所謂大門があつて別に數箇所の非常口もある此非常口は平常開放して大門同樣遊客の出入に充てるかは大阪府の意見に從はねばならぬから目下の處未定になつて居るが兎に角現在工事に著手して居るのは中央大道路以西で

▲東より西へ 通ずる分は本年末迄に土工を終了し來春一月より家屋の建築に取蒐かり最初百戸の豫定で同三月までに落成させ四月中旬から開業の運びとなると云ふ段取で頻りに工事を進ませて居る是が出來すると更に南北大道路以東の建築に手を附し爰に同遊廓の完成を見るので夫迄には尙多少の時日を要するが何分南地大火に燒出された居稼店が百廿七名あるのだから

▲最初の設計 百戸は最早滿員の態である所で廓内の建物の外觀は何うなるかと云ふに孰れも門内に深く植ゑ込みを作り一見別莊風と云ふ頗る變つた設計を立て居るが西の大門外へも新築する筈で同所より北へ新世界まで約三町の間にも大道路を設ける事になつて居る(大阪)

●邦人を撃つ
銃器を携帶せる支那小作人

昨年十月日支新條約に基き南滿洲太興合名會社が遼中縣に十萬圓を投じて商租せる約二萬町歩の耕地境界標立替の爲め派遣せる邦人人夫三十名は九日夜七時半頃銃器を携帶せる小作人は包圍射撃され人夫頭野村一郎は貫通銃創を受けたり急報に接し十一日朝遼陽より警官三名來奉同地へ急行せり原因は小作人が小作權の喪失を恐れしにありと(奉天)

●感激して發狂

十一日午後三時陛下が福岡縣鳥栖驛より朝日山の御野立所に向つて御幸の砌り群集の中に混りて奉迎を爲したる佐賀市中紺屋町一丁目石工元一の妹野口いま(三五)は感激の餘り發狂し取止めもなきこと饒舌始めたれば直に鳥栖警察署に拘禁されたり此女は去四十五年頃より精神病の氣味あり十一日も午前十時より發作的に昂奮したるものにて警察署より弟二人に引渡されたるが髮を亂し誰彼に取りすがりては立石の叔母さんに逢ひたいと呼びたり(福岡)

●春陽畫伯畫會 畫伯服部春陽

氏は京都の人にして美術學校を卒へ更に同地の大家山本春擧に學び該門下の秀才を以て稱せられしが畫伯は現代畫家の流弊を慨し自ら苦學の門を去り專ら南宋畫を研讚すると茲に年あり今回朝鮮滿洲及支那を經て深く印度に入り萬里の山河に接觸して頭腦に氣格風韻ある畫を作らむとし既に金剛山の勝を探り目下京城に滯在し近日旅行の途へ滿洲に入らむとする由なるが今回中村雄次、高野省三、生田淸三郎諸氏發起となりて畫伯の朝鮮巡遊紀念とし畫會を開催する由

●火藥庫を襲ふ

全南群山據頂里火葬場附近に於る全州通西村銃砲店の火藥庫に賊徒忍び入りダイナマイト四箱を盜み出したるものあり目下群山署にては嚴重捜査中なるが多分漁業用に使用せんためならんと

●宣教師サンビ氏

今回歸國の途次朝鮮滿洲北京上海等を視察の爲め數日前入京したる金澤在任米國宣教師サンビ氏は十六日午前十時スミス宣教師東導にて扭峴驛著關戸牧師伊藤海事出張所長熊谷商業學校長等諸氏の出迎を受け仁川を視察し同日零時三十分歸京したり因に京城には五六日間スミス氏邸に滯在の上平壤奉天に向つて出發すべしと(仁川)

●全道虎疫患者

十五日警務總監部の調査に係る全道虎疫患者發生累計は一千八百七十二名にして此の内內地人は三百十三名朝鮮人千五百五十八名英國人一名なり尙十五日中に於ける發生患者は慶尙南道に八名ありたり

●贓品を玉代に

龍山大島町居住島根縣松江市桀町生れの畫工佐藤正孔(二九)は十月二十九日午後一時頃知人なる三阪通り長井某方に赴き家人の隙を覗び同家の所有寶石入十八金の指輪一個(十六圓)を窃取し同夜新町遊廓泉樓に登樓し娼妓ぽん太事田澤かの子をして右の指輪を新町の質屋に代金三圓に入質せしめて玉代に支拂ひたること發覺し本町警察署に引致されたり

●博徒の惡事

京城本町三丁目居住福岡縣生れ力丸種次(三八)龍山彌生町居住千葉縣生れ武內寶(三五)龍山元町二丁目廣島縣生れ門田吾市(二七)龍山元町二丁目居住兵庫縣生れ升谷力松(三五)等は九月二十六日は力松方其後一二回は寶方にて現金賭けの博奕をなし尙種次は本町三丁目古物商播磨某より衣類八點の賣却方を依賴され翌日之を元町二丁目熊野質屋に十六圓餘に入質して博奕の資本に消費し種次、力松、吾市は各前科あり此程京城地方法院にて種次は懲役十箇月寶は同三箇月吾市は一年力松は同十箇月の處分となれり

●空家內で縊死

群山全州通り增田洋服店雇洋服裁縫職人にして東京芝區三田小山町生れの長濱鐵次郎(三)は群山二條通り辻泰一所有空家に忍び入り縊死を遂げ居たるを十四日午前八時頃家主辻泰一が發見し直ちに群山署に訴へ出でたれば係官は警察署と共に現場に臨檢したり懷中には友人二名に宛たる遺書二通を入れ全く覺悟の自殺なりと(群山)

●行旅病者收容所に寄附

京城南米倉町三百〇五番地貿易商吉岡信太郎氏は十四日金百圓を南山本願寺に差出し行旅病者收容所經費中に寄附したき旨申出でたりと

▲有樂館 十七日よりの特り狂言は實錄ブルガリヤの首府、ソフィヤの風景、寫眞劇大將蝴蝶の卷、滑稽帽子の主、新派悲劇色手綱全三巻、泰西正劇草上話、舊劇浪武原太全三巻なり

▲稲荷座 大阪落語三升家紋右衛門一座にて十七日の出し物はいそべ、義太夫なり

▲浪花館 東京落語柳家川柳一座にて引つゞき開演中なるが毎夜客足の減じぬは市長衛、むらく等の力なるべし

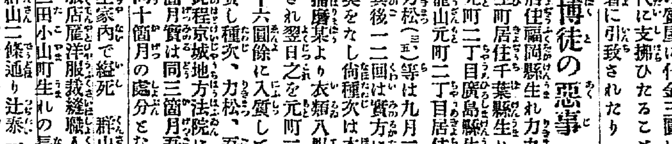
▲大正館 十五日より差替への新派劇犯さぬ罪、軍事劇交戰、舊劇由井ヶ濱仇討は好評なり

▲黃金館 探偵活劇第四黑い箱新派連鎖劇過ぎし良春夢となり居れり

●廣告料金改正●
本社廣告料の儀來る十二月一日より左記の通り改定仕候
五號活字 一行 八拾錢
貳號活字 一行 壹圓六拾錢
三號活字 一行 壹圓六拾錢
四號活字 一行 壹圓貳拾錢
六號活字 一行 八拾錢
雜報欄內 五號一行 壹圓五拾錢
場所指定一行拾錢增
大正五年十一月十六日 京城日報社

謹告
當社出張所龍山に置き土木營業致居候も今回撤廢候に付此段謹告仕候也
東京市京橋區三十間堀三丁目五番地 久米合名會社

金質確實・純金・指環・技術精巧



二匁付(鳳凰) 廿二圓五十錢
二匁五分付(片切) 十五圓七十錢
四匁付(印鑑) 廿六圓
二匁五分付(牡丹) 十八圓七十錢

△千九百年巴里萬國博覽會金牌 △西洋京城博覽會金牌 △明治四十五年朝鮮共進會金牌
地方よりの御注文は代金引換小包郵便を以て迅速に御送品可仕候
糸岐商店
電四一七〇 仁川本町 振替京七一

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應候
京城日報社 寫眞製版部

京日案內
普通 一行前金一回十錢 一番外六十錢 五號增無割引
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず
●女事務員及女外務員採用 希望者履歷書携帶午前中本人來談 旭町一丁目白水下 朝鮮割烹講習會 732
●店員入用十七八歲より廿三歲迄 市內確實なる保證人二名を要す 京城本町一丁目 平田商店 731
●店員入用希望者本人來談あれ但市內に確實なる保證人を要す、龍山元町一丁目醬油味噌製造兼古商店 730
●通勤にて雇はれ度相當商店又會社何業にても御報參上年三十六(姓名在社) 733
▲書生採用年齡十七八歲位希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城南山町三丁目 橋本齒科醫院 726
●男女外交員募集月收五拾圓確實希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城初音町六十二番地國民書院 728
●外交員募集日華生命保險總代理店、火災保險代理店 京城永樂町二ノ六○德田商會 電二三五番 715
●古本熱心高價買入 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 713

●古著古服マント蒲團類大安賣 ●舊古著類なんでも御不用品高く買ます 太平通二丁目八九 松本古著店 693
●貸家 土地高燥日當良く諸設備完全の平家建最上等貸家二棟 家賃卅三圓卅五圓 電話一二九番 701
(番外)
●事務所向貸家 支那領事館通り 希望の方は電話一一四〇番へ 723
獵犬讓 ポインター種牝 及實地獵家庭訓練共完成熟練せる獵犬希望の方は直接下記へ來談されたし 但書面問答不答 實地試驗 本町五丁目三十六番地 若林 734
店員入用 確實なる保證人を要す本人來談 一名ありたし 旭町 川西食料品店 735
寫眞見習入用 至急 奉天新市街 電話五十二番 藤永寫眞舘 729
○電話一二九一二八番に變更 辯護士 三浦末喜 京城永樂町二丁目八十二番地 727
易 觀相 見料隨意 毎日十名限 應依賴 均陵庵 永樂町一の九 707
家具木取 販賣注文は圖面送付次第見積書送ろ 內地材乾燥材 鑛山用材ゆり鉢 其他雜木各種 ●本明櫻栓楢 京城黃金町三丁目 雜木製材所 井物産前 585
●銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 488
毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣 京城本町三丁目電話二〇六五 樽元商行 612
綿ゐ蒲團 貸蒲團も致します 極力安價御需用に應ず 京城若草町湯の隣 電話二五四〇 ヒロセ 658
●捕鳥用 ●カスミ網 其他大鳥捕用具 小鳥捕用二タナ三間物二圓十錢 五間物三圓五十 京城永樂町二丁目 吉備商會製網部 673
通信占 極めて文明的占詳細本紙十日十四日朝刊にあり 介石堂 710
通信占 極めて文明的占詳細本紙十日十四日朝刊にあり 介石堂 711
通信占 極めて文明的占詳細本紙十日十四日朝刊にあり 介石堂 712
恩給 年金 低利 長期即金 立替 當分最長期融通 ▲京城永樂町一 江州屋本店 654
●京城春川間每日午前八時出發 自動車賃金片道四圓 ●南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 京春主務 金正淵 630
勸業債券高價買入 並に月賦濟尉販賣 京城太平通二丁目(電話二八三一番) 商業銀行債券部
店員入用 但十七八より二十三歲位の者 市內に確實の保證人二名を要す 旭町二丁目 後藤酒場 721
角形名 撿元版 浦本店鹼工場 京城有米倉町二八四番地 電話 振替京城二二九番 656

女鳩　渡邊默禪

（一六二）驢馬の耳

鳩子の眼は語と共に白熱の氣を帯びて來て、さながら燃ゐるやうな精神の結晶を見せた。

『そんなお疑ひを私にかけて下さるのは、姉さま、失禮ですがお情ないお心です。私はこの秘密を十日も前から存じて居りました。知つた時には隨分煩悶もしましたし、迷ひもしました。ですけれども私は自分の心の苦しいのを逃れる爲に、貴姉を精神的に殺すやうな、そんな邪慳な心にはなれませんでした。却つて心から同情しました。お氣の毒で〱なりませんでした。如何したら貴女の安全を保つて上げられるでせうと、それぱかりを一生懸命に考へました。ですから私、そのことをお父さまにも話しません。御存知ないのはお父さまばかりではなく、叔父様もまだ知らずにお在なさるんです。貴姉の秘密は傷けられずに私の胸に仕舞つてありますのよ』。

然う言つた時に、秀子は俄かに一つの恐怖から離れたやうに、ほつと息を吐いて俯けた顔を眞的に向けた。

『有難うよ、鳩さん。私し、餘程ねお前に打明けて相談して見ようと思つたんだけれど、旅行中へそんな手紙を出すのも如何かといふ懸念があつたし、それに悲しいやら情ないやらで、非常に煩悶してゐたもんだから……全く私しには意外だつたのよ。一時は絶望して了つてね。お父様に申譯がないから、母の犠牲になつて自殺をしようかとまで取詰めたくらゐなの。察して下さいな、鳩さん』哀しげな調子で言ふのが、何だか其場だけの繕ひらしかつた。

『姉さま、それは通り一遍の御挨拶なんぢやございませんか』。凝然と顔を見詰めて『成程意外だつたでせう煩悶もなさいましたでせう。だけどもその煩悶から正しい道を見出さずに、惡い方へ貴姉のお心が落ちてゐらしつたぢやございませんか。お父様に對して申譯の自殺をなさらうと決心なすつたほどの貴姉が、何故あのやうな荒んだ行ひを爲すつたんです。お酒を召上つたり、夜分遲くお歸りになつたり、若い男と交際なすつたり、そんな不謹愼な行爲が、自分の反省といふことを意味して居りますか。母樣の罪を御自分が引受けるといふ、氣高い犠牲の心をお持ちになつた方の爲さることですか』。

『だつて、それは……それは別問題よ』ぐつと詰つてこんなとを言つた。

『いゝえ、別問題ではありません。第一住江に秘密を知られたことを口惜しいと思ひなすつて、慘たらしい當り方をなすつたことからして、貴姉にそんな誠意のないことを證據立てゝ居るぢやありませんか。姉さま。あなたはよくまア彼樣慘酷なことがお出來なさいましたのね。可哀想に住江は病人になつたぢやございませんか。貴姉には涙といふ物がないんでせう、その涙は呪の火に焚かれて涸れて了つたんでせう。姉さま』。こゝへ來ると鳩子は最う感情が極度に亢ぶつて、聲ばかりでなく體までがわく〱と顫ねた。

『呪とは何です』。怫然となつて眉を逆立てた。『誰が住江を呪ひました。彼女の病氣は自分の罪から造つた自然の報いなんぢやありませんか、私しの知つたことぢやないのよ。はい存じません』。つんとした。

『解う被仰るのが呪ひなんですのよ貴姉の呪つてゐらつしやるのは住江ばかりぢやありません。私も呪つてゐらつしやるでせう。お父様も呪つておゐでゞせう。こ、此の……お、お、大河野家までも呪つてゐなさいます。ね、、解うです。確かに呪つてゐます。な、情ないお心ねね。姉さまツ』。堪りかねて椅子から滑り落るやうに床へ膝を突かせたなりに、寢臺の端へ凭れかゝつて泣いた。

『うるさいねえ、眞箇に……』。秀子は否打した勃然と立つた。『お前、喧嘩を賣りに來たのかね。そんなとなら聞く必要はありません。早く歸つて下さい。餘計に頭痛がしてならないから』。

突慳貪に叱りつけて、ついとピアノの側へ寄つた。

栗羊羹
秋の夜長や お茶の友（新菓）
千利堂（南大門店電話二七一〇番 本町店電話二九三〇番）

西洋料理、すき燒、ハイカラ丼
おいしい京城第一との高評を博し居り候
南大門通 電話二五七一番
カフエータイガー

印章と名刺
京城本町一丁目 千代田號 電話三一八 口座三二三番
○各種萬年筆修理仕候!!

刊新紹介

▲實業帝國（十一月號）十一錢東京市日本橋區本町一の一四社
▲樂界新報（十一月號）二十錢東京市牛込區下宮比町六社
▲帝國青年（十一月號）十錢東京市麴町區内幸町一の四社
▲滿蒙研究彙報（參考號第四）引き續き陶山東海の東部内蒙古に於ける九十三箇所鑛山踏査日記二十餘頁を掲載せる外參考資料欄の滿蒙經濟要覽南滿洲に於ける紙類需要資料欄の蒙古欄の蒙古羊毛に就て山東の米國煙草栽培業資料香爐碗子金鑛及砂金地調査等文民國三年支那鐵產物の輸出入等見るべし（非賣品旅順乃木町共會）
▲新東京（創刊號）東京が如何なる進歩を爲しつゝあるかを研究せん爲めに生れたるもの東京婦人の歩みより東京の株式商人等（五錢東京市[illegible]）

市況

大阪期米（十五日）

▲十六日後場▲兵庫後場十六圓六十八錢東京十七圓四十四錢大阪前止十七圓〇一錢後場〇四錢の入電にて當地當十三圓中出來不出先十二圓七十八錢と二錢高に寄付一歩九錢と續けたるが大阪[illegible]

▲後場の手振 [illegible]

▲豆能く買ふ 後場同店より買た白十三圓等にて約定出來たり [illegible]

十六日の一月限　寄付 十二圓七十錢
十一月限 一萬三千八百五十石
十二月限 二千九百五十石
一月限 十一萬四千四百五十石
[illegible]に錦綿面校里鄭漢方に赴き同人に稅金の督促をなしたるに反抗して手に[illegible]り居りしが此程歸宅し居れる所を鍾路警察署に引致されたり

ミツワ石鹼

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, and nursery.

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に「フェノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

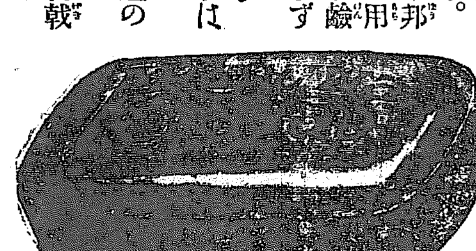
○ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

卽ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

種類	
大形 家庭用	定價金貳拾錢
中形 携帶用	定價金拾錢
小形 旅行用	定價金拾錢
極小形 旅館用	定價金五錢

技師 工學士 藤野太治郎 工學士 片山 晃


現品實寫眞

肝油ドロップス ◯ ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目 振替東京一七〇一番
丸見屋商店
電話特長浪花 四四四四 四四五四 八九〇番 三〇〇番

皇后宮職御用のクラブ化粧品應用

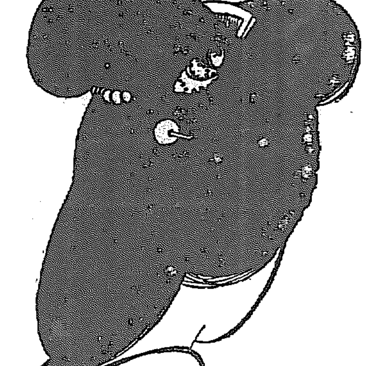
高尚なる御化粧と御髮上

美容俱樂部

京城本町三丁目 八十六番地

皇后宮職、各宮家御用品として内地の上流社會は申すに及ばず海外社交場裡にも嘖々たる好評を博しつゝある天下一品のクラブ白粉クラブ香油、クラブ美髮用ポマードを始め有効第一のクラブ各種化粧品を應用し優秀なる技術を發揮して最新式の高尚なる御化粧及び御髮上並に御婚禮衣裳つけ等の御需めに應ずべく候間特別御眷顧の程偏に奉願上候

京城本町三丁目
美容俱樂部
雨森すゑ子 謹白



大邱浦項間自動車發着時間

上り　浦項發 前六.三〇 後一.〇〇 安東 慶州 永川 河陽 大邱着 …
下り　大邱發 前六.三〇 後一.〇〇 河陽 永川 慶州 安康 浦項着 …
電話七番 大塚農場自動車部
電話一一七番 大邱出張所

金泉醴泉間自動車發着時間

上り 金泉發 龍宮發 咸昌發 醴泉着 前八.三〇 後三.〇〇
下り 醴泉發 龍宮發 咸昌發 尙州發 金泉着 前八.五〇
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十一月十二日 未明出帆
高砂丸 十一月廿日 午正出帆
三河丸 十二月一日 午正出帆
仁川海岸町 堀回漕部 電話十一番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 十一月廿一日後四時出帆
○秀吉丸 十一月廿九日後四時出帆
○君か代丸 十一月廿八日後四時出帆
○神代丸 十一月十九日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部 電話五十九番

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 朝鮮總督府命令航路
共同丸 十一月十九日入港 十一月廿一日正午出帆
阿波共同汽船株式會社
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同樣運賃にて通し輸送取扱可仕候
本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會
元山代理店 春日町（電話二四九七番）田口回漕部
京城取次店 南大門（電話二六八・二〇一七）河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○○門司、神戶、大阪行
立神丸 十一月 日後五時出帆
小倉丸 十一月 日後五時出帆
○○元山、淸津、浦鹽行
立神丸 十一月 日後四時出帆
小倉丸 十一月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸 十一月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸 十一月廿八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸 毎月一日、十四日、廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二一三二番
鐵道會社及社外船と荷客連絡の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に照會相成度候
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店（電話一七〇番）

○全羅丸 十一月十六日
○京畿丸 十一月廿六日
○黃海丸 十一月廿二日
○咸鏡丸 十一月廿三日 釜山發
門司より一釜山各港寄港基隆航路
○穩城丸 十一月十六日
○昌平丸 十一月廿二日
○鏡城丸 十一月二十日 元山發
元山より各港經由浦鹽行
○第二錦旗丸 十一月
○忠淸丸 十一月廿二日
○平壤丸 十一月十三日 元山發
城津淸津浦項經由復航釜山より門司又は長崎行
○盛德丸 十一月十七日 釜山發
甘浦九龍里浦項各港寄港慶興島行
○○江陵丸 毎日 釜山 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 十一月十七日 釜山發
長承浦、統營、三千浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港
○○海州丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
各港經由鎭水浦行
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
各港經由鎭水より釜山行ニ接續
○慶興丸 十一月十九日 木浦發
各港經由濟州島行西回
○慶興丸 十一月廿二日 木浦發
南多島海列島行月三回
○公州丸 十一月十六日 木浦發
各港經由濟州島行東回
○宗信丸 十一月十七日 仁川發
海州他各港經由龍塘浦又は白翎島行
○江原丸 十一月十八日 仁川發
靑島、大連、芝罘行
○○麗水丸 晉州丸 十一月廿一日 十一月十七日 仁川發
各港經由木浦行
○全州丸 十一月 仁川發
○南陽丸 毎日午前 仁川發
江華島、喬桐島、延坪行

大阪商船仁川出帆

外航路所屬航路並連絡線を除く「の船は五分引を以て連絡切符發賣」[illegible]
○群山、木浦、釜山、廟門、神阪行
東丸 十一月廿三日後五時出帆
濟州丸 十一月廿二日後五時出帆
天智丸 十一月廿八日
○木浦、釜山、嚴原、「絕の浦」長崎行
信濃川丸 十一月廿五日正午出帆
信濃川丸 十二月十三日正午出帆
○群山、釜山、鎭南浦行
濟州丸 十一月廿四日
福州丸 十一月二十日後二時出
○鎭南浦、神戶、大阪行
天智丸 十一月十七日正午時出
○群山、神戶、大阪行
家康丸 十一月十八日後四時出
○鎭南浦、大連行
信濃川丸 十一月廿日後二時出
信濃川丸 十二月八日
○鎭南浦大連行
廣州丸 十一月廿三日正午出帆
○鎭南浦行
薄州丸 十一月十七日正午出帆
△○天津、芝罘行（元山丸寄港）
清津、八城寄港、四日寄港沽溯不寄港
安平丸 十二月五日後二時出
宮島丸 十一月廿一日
▲上海、基隆、打狗行（大連行）
基隆丸 十二月一日午後四時出
御北丸 月 日午前六時出
御注意 ●印線は鐵道及び南滿洲鐵道線と連絡切符發賣●印線は連絡切符發賣●印は一時前發賣可致候◎印は本船出帆に遲る時乃至は船客取扱仕候
切符發賣所 大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇一五二五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
●中國四國沿岸各船舶客に對し一割引を以て迎